

**Pioneer** *sound.vision.soul*

**重  
要**

再生できるディスクの種類 . . . . 11 ページ

ディスクの操作について . . . . 11 ページ

DVD-V/VCD/CD/MP3 チューナー メインユニット

# DVH-P007

**取扱説明書**

目次 6 ページ

**carrozeria**

# 必ずお読みください

## 安全のために必ずお守りください

### 絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



### 注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

# 安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

## 警告

### [使用方法]

#### 運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

#### 走行中にDVDなどを見ない



禁止

運転者がDVDなどを見る時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にDVDなどを見ると前方不注意となり、交通事故の原因となります。

### [異常時の処置]

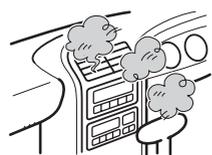
#### 故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### 異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



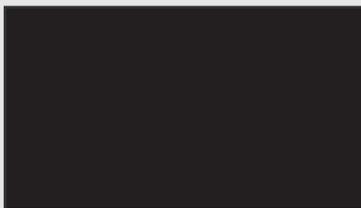
必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

## 安全走行のために

本機はパーキングブレーキのオン/オフを検知しており、フロント映像出力に接続したモニターでは、走行中にDVDやビデオCDの映像を見ることができないようになっています。

例：DVDを見ようとしたとき（黒い画面になります。）



安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけると映像が表示されます。

## リア映像出力に接続したモニターの使用について

本機のリア映像出力は、後部座席でDVDやビデオCDを見るモニターに接続するための出力です。リア映像出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

## バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

# この説明書のみかた

章の見出しです。

操作方法が書いてあります。

操作の結果が書いてあります。

画面表示です。

操作に対応しているリモコンのモードを表示しています。

## 情報画面 1 での操作

見たい場面をタイトルやチャプターを指定して再生する機能、音声の切り換え、字幕表示の切り換え、アングルの切り換えを行うことができます。

**見たい場面を探して、指定した時間から再生する DVD/DVR**  
 タイトル、チャプターを指定して見たい場面を探し再生するタイトル/チャプターサーチ機能、指定した時間から再生するタイムサーチ機能を行うことができます。

1 ジョイスティックを左右に操作して、項目を選ぶ  
 選んだ項目が青色で表示されます。

2 希望の番号の数字ボタンを押す

**タイトル、チャプターの場合**  
 3 を選ぶには、3 のボタンを押します。  
 10 を選ぶには、1、0 を押します。  
 23 を選ぶには、2、3 と押します。  
 選ばれているタイトル、チャプターから 10 進めない場合は、10 を押します。  
 ・リモコンの操作モードが DVD モードの場合、数字 (0 - 10) のボタンでの操作はできません。  
 ジョイスティックで操作してください。

**時間 (タイムサーチ) の場合**  
 21 分 43 秒を選ぶには、2、1、4、3 と押します。  
 1 時間 11 分を選ぶには、分に換算し、7、1、0、0 と押します。  
 選ばれている時間から 10 秒ずつ進めたい場合、10 を続けて押します。  
 ・リモコンが DVD モードに設定されているときは、この操作はできません。

・ CLEAR ボタンを押すと、入力した番号が消えます。  
 ・ タイトル、チャプターの選択は、ジョイスティックの上下操作でも行うことができます。

3 入力した番号が表示されている間にジョイスティックを押す  
 選んだ場面から再生されます。

・ メニューのあるディスクでは、MENU ボタンまたは TOP MENU ボタンを押してメニュー画面を表示し、選ぶこともできます。  
 ・ ディスクによっては、**再生マーク** が表示され、タイトルやチャプター、時間を指定できないことがあります。  
 ・ 停止中のチャプターサーチやタイムサーチはできません。  
 ・ 情報画面を表示しなくても、タイトルやチャプターを指定して再生することもできます。  
 詳しくは「タイトル、チャプターを指定する (タイトルサーチ)」(31 ページ) をご覧ください。

## 音声、字幕、アングルの切り換え DVD/DVR

ディスク再生の音声 (言語、またはドルビーデジtalのような音声タイプなど) や字幕、アングルを切り換えることができます。

1 ジョイスティックを左右に操作して、項目を選ぶ  
 選んだ項目が青色で表示されます。

2 ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える  
 選んだ設定に切り替わります

**音声の場合**  
 音声1 音声2 音声3  
**字幕の場合**  
 字幕1 字幕2 字幕3  
**アングルの場合**  
 アングル1 アングル2 アングル3

次ページへつづく

知っておくと便利なことなどが書いてあります。

操作するボタンです。

章の見出しです。

# 目次

## — CONTENTS

### 必ずお読みください

安全のために必ずお守りください . . . . . 2
絵表示について
安全上のご注意
安全走行のために . . . . . 4
リア映像出力に接続した
モニターの使用について
バッテリー上がりを防ぐために . . . . . 4
この説明書のみかた . . . . . 5

### はじめに

使用上の注意 . . . . . 10
再生できるディスクの種類 . . . . . 11
DVD について . . . . . 12
CD について . . . . . 13
MP3 ファイルについて . . . . . 14
各部の名称 . . . . . 16
本体
リモコン
50 枚型マルチ CD プレーヤーの
使用について . . . . . 18
リモコンの準備 . . . . . 18
コンディション
メモリーについて . . . . . 19
リモコンの操作モード切り換え
スイッチについて . . . . . 19

### 共通の基本操作

電源を ON にする . . . . . 20
ソースを選ぶ . . . . . 20
音量を調節する . . . . . 22
電源を OFF にする . . . . . 23
ディスクをセットする . . . . . 24
ディスクを取り出す . . . . . 25

### 内蔵プレーヤーの操作 (DVD-V)

本体での基本操作 . . . . . 26
ディスク再生/早送り・早戻し/ チャプター・タイトル選択
本体のファンクションモード
での操作 . . . . . 27
モードの切り換えかた
リピート再生
ポーズ
ダイナミックレンジコントロール
リモコンでの基本操作 . . . . . 30
ディスク再生
メニュー画面の操作
チャプターを進める/戻す
タイトル・チャプターを指定する (ダイレクトサーチ)
早送りする
早戻しする
再生を止める
静止画再生
コマ送り再生
スロー再生
再生中に音声言語を切り換える (マルチ音声)
再生中に字幕言語を切り換える (マルチ字幕)
再生中にアングルを切り換える (マルチアングル)
情報画面での操作 . . . . . 39
情報画面の表示のしかた
情報画面 1 での操作 . . . . . 40
見たい場面を探す、 指定した時間から再生する
音声、字幕、アングルの切り換え
情報画面 2 での操作 . . . . . 42
リピート範囲の切り換え

## 内蔵プレーヤーの操作 (ビデオCD)

本体での基本操作 ..... 44  
ディスク再生/早送り・早戻し/  
トラック選択

本体のファンクションモード  
での操作 ..... 46  
モードの切り換えかた

リピート再生  
ポーズ

リモコンでの操作 ..... 48

ディスク再生  
メニュー画面の操作  
トラックを進める/戻す  
トラックを指定する (ダイレクトサーチ)  
早送りする  
早戻しする  
再生を止める  
静止画再生  
スロー再生

情報画面での操作 ..... 53

情報画面の表示のしかた  
見たい場面を探す、  
指定した時間から再生する  
再生範囲の切り換え  
音声の出力方法の切り換え

## 内蔵プレーヤーの操作 (CD)

本体での基本操作 ..... 56  
ディスク再生/早送り・早戻し/  
トラック選択

本体のファンクションモード  
での操作 ..... 57  
モードの切り換えかた

リピート再生  
ランダム再生  
スキャン再生  
ポーズ  
タイトル入力  
ディスクタイトル表示  
タイトル表示 (「CD TEXT」)

リモコンでの操作 ..... 63

早送りする  
早戻しする  
一時停止  
再生を止める

情報画面での操作 ..... 65

聞きたい場所を探す  
再生範囲の切り換え  
ランダム再生のオン/オフ  
スキャン再生のオン/オフ  
タイトル表示

## 内蔵プレーヤーの操作 (MP3)

本体での基本操作 ..... 68  
フォルダー選択/トラック選択/  
早送り・早戻し

本体のファンクションモード  
での操作 ..... 70  
モードの切り換えかた

リピート再生  
ランダム再生  
スキャン再生  
ポーズ  
タイトル表示

リモコンでの操作 ..... 76

早送りする  
早戻しする  
一時停止  
再生を止める

情報画面での操作 ..... 78

聞きたい場所を探す  
リピート範囲の切り換え  
ランダム再生のオン/オフ  
スキャン再生のオン/オフ  
タイトル表示

# 目次

## — CONTENTS

### ラジオの操作

ラジオの操作	82
バンド選択/放送局選択	
プリセットメモリー	
BSM (ベストステーションズメモリー)	
プリセットチューニング	
放送局名表示	
放送局名選択	

### マルチCDの操作

マルチCDの基本操作	88
ディスク選択/トラック選択/ 早送り・早戻し	
ファンクションモード・ 詳細設定モードの操作	90
ファンクションモードの切り換え	
詳細設定モードの切り換え	
リピート再生	
ランダム再生	
スキャン再生	
ITS入力	
ITS再生	
ITS消去 (1曲ごと)	
ITS消去 (CDごと)	
タイトル入力	
ディスクタイトル表示	
タイトル表示 (「CD TEXT」)	
タイトルリスト	
ポーズ	
CDの音質を調整する	

### 音の調節 1

お好みの音の空間に設定する	104
イコライザーカーブを補正する	105
イコライザーカーブを選ぶ	106
モードの切り換えかた	106
オーディオ調節モードの切り換え	
オーディオ詳細設定モードの切り換え	
前後左右の 音量バランスを調節する	108
お好みに合わせてイコライザー カーブを調節する	109
イコライザーカーブを 細かく調節する	110
低音と高音を調節する	111
調節する低音周波数の選択	
調節する高音周波数の選択	
小音量時の音に メリハリをつける	114
サブウーファーを使う	114
外部アンプなどで サブウーファーを調節する	116
低い音をスピーカーから 出力させないようにする	117
各ソースの 音量の違いをそろえる	118

## 音の調節 2

(DEQ-P7 を接続しているときだけ  
使用できる機能です)

オーディオ調節のポイント	120
モードの切り換えかた	120
オーディオ調節モードの切り換え	
オーディオ詳細設定モードの切り換え	
SFC で音場を再現する	122
リスニングポジションを選ぶ	123
前後左右の	
音量バランスを調節する	124
各ソースの	
音量の違いをそろえる	125
ダイナミックレンジ	
コントロールを使う	126
デュアルモノモードを使う	126
オリジナルの音質で聞く	127
ドルビープロロジックを使う	128
接続した	
スピーカーの設定をする	129
各スピーカーの有無やサイズを設定する	
サブウーファースの位相を切り換える	
カットオフ周波数を設定する	131
スピーカーレベルを調節する	132
テストトーンで	
スピーカーレベルを調節する	133
タイムアライメントを調節する	134
イコライザーカーブを使う	135
イコライザーカーブを選ぶ	
3バンドパラメトリック	
イコライザーを調節する	

## 内蔵プレーヤーの初期設定

内蔵プレーヤーの初期設定	138
初期設定メニューを表示する	
基本字幕の設定	139
基本音声の設定	140
メニュー言語の設定	141
アシスト字幕の設定	142
マルチアングル	
マーク表示の設定	143
画面の縦横比の設定	144
視聴制限の設定	145
暗証番号とレベルの設定	
レベルの変更	
暗証番号を忘れたときは	
リモコンコードの設定	149

## 初期設定

初期設定モードの切り換えかた	150
初期設定画面を表示する	
初期設定	152
時計を合わせる	
外部機器の音声を聞く	
外部機器の名称を入力する	
夜間のディスプレイの	
明るさを切り換える	
リアの出力方法を変える	
サブウーファースの調節先を選ぶ	
ミュート/アッテネート切り換え	
自動/手動再生の切り換え	
音の歪みを補正する	

## その他の機能と付録

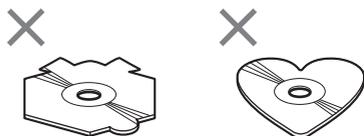
瞬時に音量を小さくする	158
時計を表示させる	158
交通情報を受信する	159
レベルインジケータを	
切り換える	159
言語コード表	160
用語解説	161
故障かな？と思ったら	164
こんなメッセージが	
表示されたら	170
保証書とアフターサービス	171
仕様	172

## 使用上の注意

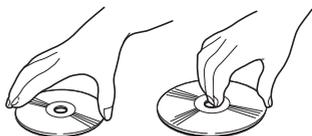
### 取り扱い上のご注意

ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。

特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



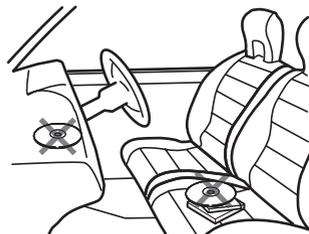
ディスクは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持つてください。



ディスクにキズを付けしないでください。  
ディスクにシールなどを貼り付けしないでください。

### 保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。



ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

### お手入れについて

ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログレコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。

### ディスク再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後に再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布でふいてください。

- ・製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

## 再生できるディスクの種類

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。本機はNTSC (日本のテレビ方式) に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	最大再生時間
DVD ビデオ  	DVD ビデオ 12cm/片面 1層	(MPEG 2方式) 133分
	2層	242分
	DVD ビデオ 12cm/両面 1層	266分
	2層	484分
	DVD ビデオ 8cm/片面 1層	(MPEG 2方式) 41分
	2層	75分
ビデオ CD 	ビデオ CD 12cm/片面	(MPEG 1方式) 74分
	ビデオ CD シングル 8cm/片面	(MPEG 1方式) 20分
CD 	CD 12cm/片面	74分
	CD シングル 8cm/片面	20分

### ディスクの操作について

DVDによっては、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上、リピートなど一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に (禁止マーク) が表示されます。

ディスクによっては、表示されないこともあります。

# DVD について

## 使用できる DVD について

DVD ビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。

DVD ビデオディスクによっては、再生できない場合があります。

DVD オーディオやDVD-ROMなどは再生できません。本機で再生できるのは、11ページに記載されているマークの付いたディスクのみです。

DVD ビデオディスクでも、リージョン番号(162ページ)が異なるディスクは再生できません。

DVD-R/DVD-RW ディスクは、ビデオフォーマット(ビデオモード)で記録されたものに限り、再生することができます。ビデオレコーディングフォーマット(VRモード)で記録されたDVD-RWディスクは再生できません。

ビデオフォーマット(ビデオモード)で記録されたDVD-R/DVD-RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

ファイナライズされていないDVD-R/RWディスクには対応していません。

## DVD に表示されているマークの意味

②))

音声の数を表します。

②...)

字幕の数を表します。

③①

アングルの数を表します。

16:9 LB

画面サイズ(アスペクト比:横と縦の比率)の種類を表します。

② ALL

再生可能な地域番号(リージョン番号)を表します。本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など、「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

## ドルビーデジタル/DTS について

当社の 5.1ch 対応・DSPユニット(「DEQ-P7」と組み合わせると、5.1チャンネルで収録された映画/音楽のDVDを臨場感豊かに再現することができます。

 DOLBY  
DIGITAL

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

 dts  
DIGITAL OUT

DTSは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。

# CDについて

## 著作権について

本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

## 使用できるCDについて

本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

ファイナライズされていないCD-R/RW、ディスクには対応しておりません。

CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。

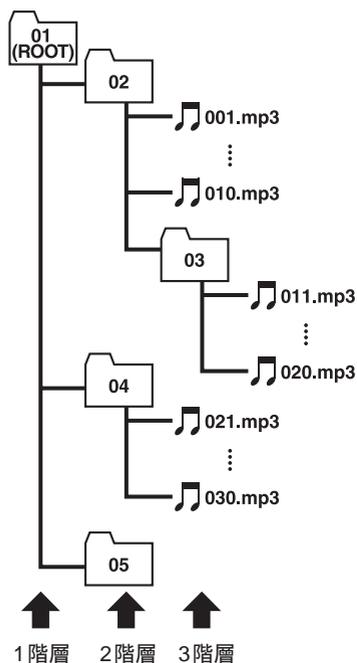
CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

PC (パソコン) で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては、再生できない場合があります。(詳細については、アプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。)

# MP3 ファイルについて

## フォルダーとMP3 ファイルについて

MP3 ファイルを収録した CD-R / CD-RW / CD-ROM のイメージは下図のようになります。



本機は MP3 ファイルが記録された CD-R / CD-RW / CD-ROM の再生に対応しています。ディスクは、ISO9660 のレベル 1、およびレベル 2、および拡張フォーマット (Joliet、Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。(163 ページ)  
本機はマルチセッション (162 ページ) 方式で記録したディスクの再生に対応しています。

パケットライト (161 ページ) には対応していません。

m3u (163 ページ) のプレイリストには対応していません。

MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。

ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.mp3) を含めて 32 文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は 32 文字までです。

拡張フォーマット (Joliet、Romeo) (163 ページ) に準拠して記録されたファイルの場合、先頭から 32 文字までの表示に対応しています。

再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

- ・ フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- ・ CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CD ディスクに MP3 ファイルと、音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、MP3 ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えることができます。MP3 ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- ・ MP3 ファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号の表示をせず、スキップします。)
- ・ 8 階層までの MP3 ファイルの再生に対応していますが、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を 2 つ以下にすることをおすすめします。
- ・ ディスクに含まれるフォルダーの合計が 253 個まで再生可能です。

## MP3 とは？

MPEG Audio Layer 3 の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。(163 ページ)

### 再生できる MP3 ファイルについて

- ・ MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
- ・ 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けしないでください。

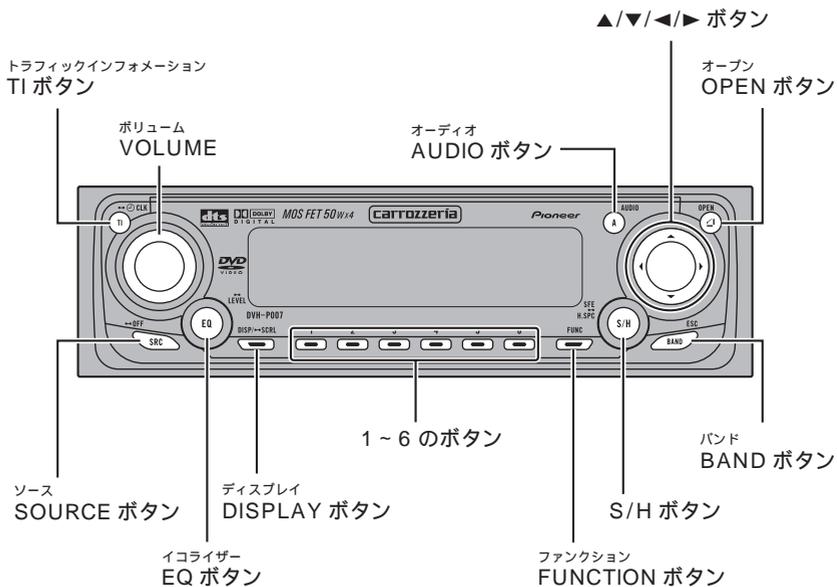
ID3 Tag (163 ページ) の Ver1.0 および Ver1.1 の album (Disc Title として表示)、track (TrackTitle として表示)、artist (Track Artist として表示) の表示に対応しています。

32/44.1/48 kHz の MP3 ファイルを再生している場合のみエンファシスに対応しております。(なお、再生可能なサンプリング周波数は 16/22.05/24/32/44.1/48 kHz です。)

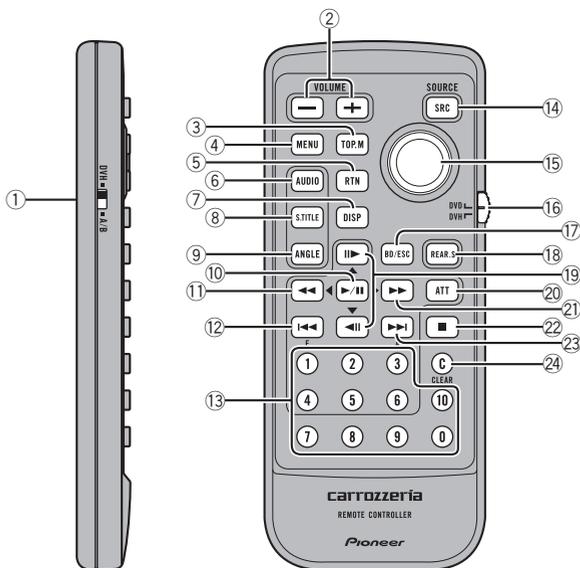
一般的に MP3 ファイルは、ビットレート (161 ページ) が高いほど音質は良くなります。本機は、8kbps ~ 320kbps の MP3 ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbps 以上のビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

# 各部の名称

## 本体



# リモコン



① リモコンコード切り換えスイッチ  
(149 ページ)

② ボリューム  
VOLUME ボタン

③ トップメニュー  
TOP MENU ボタン

④ メニュー  
MENU ボタン

⑤ リターン  
RETURN ボタン

⑥ オーディオ  
AUDIO (マルチ音声) ボタン

⑦ ディスプレイ  
DISPLAY ボタン

⑧ サブタイトル  
SUBTITLE (マルチ字幕) ボタン

⑨ アンゲル  
ANGLE (マルチアンゲル) ボタン

⑩ 再生/一時停止 (▶/||) ボタン

⑪ 早戻し (◀◀)/◀ ボタン

⑫ ファンクション  
スキップ (◀◀◀)/FUNCTION ボタン

⑬ 数字 (0 ~ 10) ボタン

⑭ ソース  
SOURCE ボタン

⑮ ジョイスティック

⑯ 操作モード切り換えスイッチ  
(19 ページ)

⑰ バンド/エスケープ  
BAND/ESC ボタン

⑱ リアシート  
REAR.S ボタン

⑲ コマ送り (▶▶)/▲ ボタン  
コマ戻し (◀◀)/▼ ボタン

⑳ アッテネーター  
ATT ボタン

(158 ページ)

㉑ 早送り (▶▶)/▶ ボタン

㉒ 停止 (■) ボタン

㉓ オーディオ  
スキップ (▶▶▶)/AUDIO ボタン

㉔ クリアー  
CLEAR ボタン

# 50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

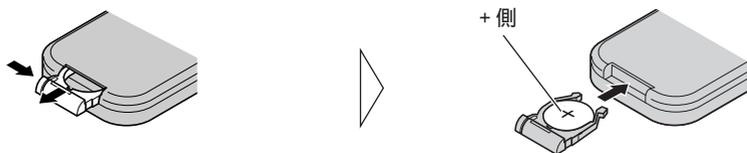
本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。

## リモコンの準備

付属のリモコンを使うための準備です。

### リモコンに電池を入れる

電池ホルダーを取り出し、リチウム電池（CR2025）を図のようにしてセットします。はじめてお使いになるときは、電池ホルダー部から出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただくことができます。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

- ・ リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- ・ 本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。
- ・ 付属の電池は、充電しないでください。
- ・ リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・ 電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- ・ 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

## コンディションメモリーについて

ディスク再生中に設定した音声言語・字幕言語・アングル番号、音声の出力方法（ステレオ、モノラル）、テレビアスペクト設定の5項目をディスクごとに最大30枚まで記憶する機能です。特別な操作の必要はなく、ディスク再生中の最後の設定内容を記憶します。記憶されたディスクを再生すると、前回の設定内容で再生されます。

- ・ディスクによっては、音声言語や字幕言語の設定が自動的にディスクで指定された内容になり、コンディションメモリーが無効になってしまう場合があります。
- ・30枚を超えたときは、古い記憶から順に新しい記憶に入れ換わります。

## リモコンの操作モード切り換えスイッチについて

本機に付属のリモコンには、DVHモードとDVDモードの2つの操作モードがあります。

### DVHモードについて

リモコンの操作モードをDVHモードにすると、各ソースの操作、設定の切り換えなどをリモコンで行うことができます。

この場合、本体のボタンとリモコンのボタンの両方で、同様の操作をすることができます。

### DVDモードについて

リモコンの操作モードをDVDモードにすると、DVD（内蔵プレーヤー）の操作、設定の切り換えなどをリモコンで行うことができます。

また、リアモニターでDVDを再生しているときなどに、リアモニターでのDVDの操作だけを独立して行うことができます。（フロントモニターとリアモニターが同時にDVDを再生しているときは、フロント/リア共通の操作になります。）

また、本体の電源がOFFのときや、本体のソースが内蔵プレーヤー以外のもので、リモコンのREAR.Sボタンを押すと、リアモニターでの内蔵プレーヤーの再生をONにすることができます。

- ・リモコンの操作モードがDVDになっている場合は、リモコンでは、内蔵プレーヤー以外の操作をすることはできません。

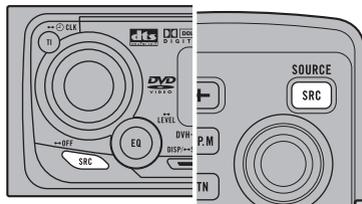
## 共通の基本操作

# 電源を ON にする

電源 ON

### 本体・リモコンでの操作

- 1 SOURCE ボタンを押す  
電源が ON になります。



### リアシートからの操作

- 1 リモコンの REAR.S ボタンを押す  
電源が ON になります。



- ・本機で内蔵プレーヤー以外のソースを選んでいるときでも、REAR.S ボタンを押して内蔵プレーヤーの再生を ON にすると、リアモニターで本機の映像を見ることができます。
- ・本機の電源の ON/OFF にかかわらず、内蔵プレーヤーの再生を ON/OFF することができます。

# ソースを選ぶ

ソース選択

### 本体・リモコンでの操作

- 1 SOURCE ボタンを押す  
SOURCE ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

TUNER (ラジオ) (AM/FM)    TV (テレビ) (別売)  
 DVD (DVD/ビデオ CD/CD)    S-DVD (1 枚型 DVD/マルチ DVD) (別売)  
 MULTI CD (マルチ CD) (別売)    EXT (エクスターナルユニット 1) (別売)  
 EXT (エクスターナルユニット 2) (別売)    AUX (外部機器) (別売)

- ・ 接続していないソースには切り換わりません。
- ・ ディスクがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- ・ 本機の青リード線 (オートアンテナ) に車側のオートアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。
- ・ External (エクスターナルユニット) とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品 (将来発売される製品など) の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2 台の External (エクスターナルユニット) をコントロールすることができますが、External1、External2 のどちらに切り換えても “External” が表示されます。2 台の External (エクスターナルユニット) を接続した場合、本機によって、External1、External2 が自動的に設定されます。
- ・ AUX (外部機器) の設定 (153 ページ) を ON にしないと、AUX には切り換わりません。

## テレビ、マルチ MD を接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

- ・ テレビ (例: 「AVX-P777」など) の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作を説明している場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。
- ・ 本機は、マルチ MD (例: 「MD-P100II」) をエクスターナルユニットとして操作することができます。操作のしかたは、マルチ MD の取扱説明書の「メインユニット<sup>③</sup>」を参照してください。

## 1 枚型 DVD、マルチ DVD を接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

1 枚型 DVD (例: 「SDV-P7」)、マルチ DVD (例: 「XDV-P9II」) の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作を説明している場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。マルチ DVD で CD を再生しているときは、ITS 機能 (95 ページ) とディスクタイトル機能 (98 ページ) を使うことができます。操作はマルチ CD と同じです。

本機で 1 枚型 DVD、マルチ DVD を操作する場合は、◀/▶ ボタンの機能が異なります。

▶ : 次のチャプター (トラック) を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前のチャプター (トラック) を選ぶとき (または早戻し)

### チャプター (トラック) 選択と早送り/早戻しの使い分け

チャプター (トラック) の選択	0.5 秒未満
早送り/早戻し	0.5 秒以上

再生するディスクの種類によって、ファンクションモード切り換えが異なります。本機の FUNCTION ボタンを押すごとに、以下のように切り換わります。

### DVD の場合

リピートモード    ポーズモード    ダイナミックレンジコントロールモード

リピートモードに戻る

ダイナミックレンジコントロールモードは、本機に、別売の 5.1 ch 対応・DSP ユニット (「DEQ-P7」) を接続していないときだけ操作できます。

### ビデオ CD の場合

リピートモード    ポーズモード    リピートモードに戻る

### CD の場合

リピートモード    ランダムモード    スキャンモード

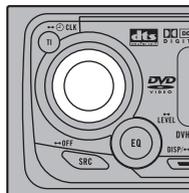
ITS 再生モード (マルチ DVD のみ)    ポーズモード    リピートモードに戻る

# 音量を調節する

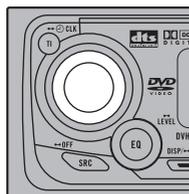
音量調節

## 本体での操作

- 1** VOLUME を押す  
押すと手前に出てきます。  
もう一度押すと、元に戻ります。



- 2** VOLUME を回す  
右回し：大きくするとき  
左回し：小さくするとき



## リモコンでの操作

- 1** VOLUME ボタンを押す  
+ : 大きくするとき  
- : 小さくするとき

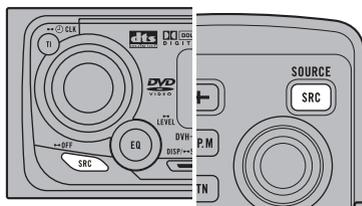


# 電源を OFF にする

電源 OFF

## 本体・リモコンでの操作

- 1 SOURCE ボタンを 1 秒以上押す  
電源が OFF になります。



## リアシートからの操作

- 1 リモコンの REAR.S ボタンを押す  
電源が OFF になります。



- ・ REAR.S ボタンを押して、内蔵プレーヤーの再生を OFF にした場合、本体のディスプレイから “ REAR ” の表示が消えます。
- ・ リモコンの REAR.S ボタンを押して内蔵プレーヤーの再生を ON にしたときは、SOURCE ボタンを押しても本機の電源は OFF になりません。(本体のディスプレイの “ REAR ” が点灯しています。)  
この場合は、リモコンの REAR.S ボタンを押して、内蔵プレーヤーの再生を OFF にしてください。本体のディスプレイ上から “ REAR ” が消えると、本機の電源が OFF になったことを確認することができます。

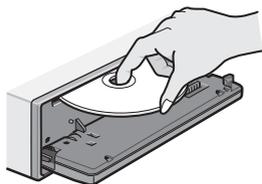
## ディスクをセットする

**1** 本体のOPEN ボタンを押して、フロントパネルを開ける

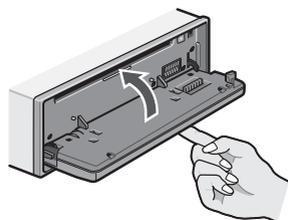
**2** タイトル面を上にして、ディスク挿入口に差し込む

ディスクが自動再生 (A-PLY :ON) になっている場合は、自動的にディスクの再生が始まります。

ディスクが手動再生 (A-PLY :OFF) になっている場合は、SOURCE ボタンを押して、ソースをDVD (内蔵プレーヤー) に切り換えてください (「自動/手動再生の切り換え」156 ページ)。



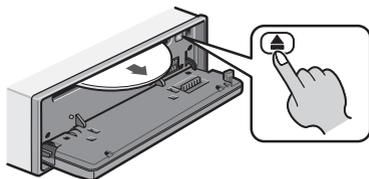
**3** フロントパネルを閉める



- ・ 8 cm ディスクもアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- ・ ディスク挿入口には、本機に対応したディスク以外の物を絶対に入れないでください。故障の原因となります。

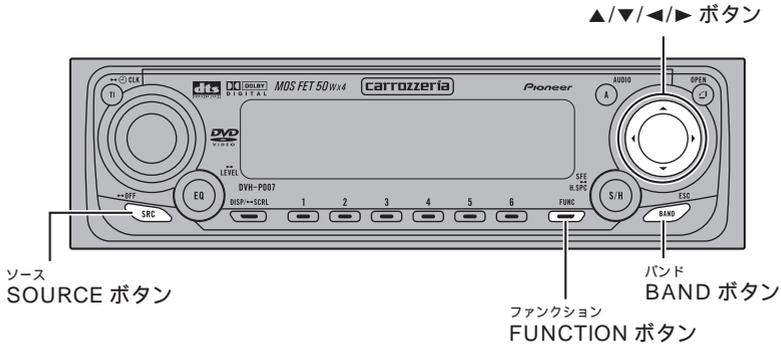
# ディスクを取り出す

- 1 フロントパネルを開けてから本体の▲ボタンを押す



- 2 フロントパネルを閉める  
ディスク挿入口にゴミやホコリが入るのを防ぐため、フロントパネルを閉めてください。

## 内蔵プレーヤーの操作 (DVD-V)



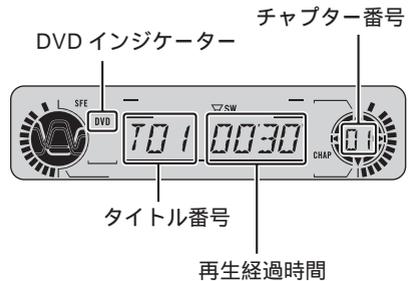
## 本体での基本操作

### ディスク再生/早送り・早戻し/チャプター・タイトル選択

- 1** SOURCE ボタンを押して、ソースを DVD (内蔵プレーヤー) に切り換える (「ソースを選ぶ」20 ページ)

内蔵プレーヤーが準備動作 (ディスクの情報の読み込みなど) をしているときは、画面上に“STOP”が表示され、ボタンでの操作はできません。

メニュー画面付き DVD の再生を開始すると、メニュー画面が表示されます。この場合は、リモコンのジョイスティックで再生を開始してください (「メニュー画面の操作」30 ページ)。



- 2** ▲または▼ボタンを押して再生したいタイトルを選ぶ

- ▲ : 次のタイトルを選ぶとき
- ▼ : 前のタイトルを選ぶとき



再生経過時間が100分を超えたときは、タイトル番号の“T”の文字が消えて、再生経過時間を表示します。

- 3** ◀または▶ ボタンを押して、再生したいチャプターを選ぶ (または早送り/早戻し)
- ▶ : 次のチャプターを選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前のチャプターを選ぶとき (または早戻し)



チャプター番号

#### チャプター選択と早送り/早戻しの使い分け

チャプターの選択	0.5秒未満
早送り/早戻し	0.5秒以上

◀/▶ ボタンを5秒以上押すと、ボタンから手を離しても早送り/早戻しが継続されます。見たい場所でリモコンの再生/一時停止 (▶/⏸) ボタンを押すと、その場所から再生されます。

ディスクによっては、早送り/早戻しできない場所があり、その場所になると自動的に通常再生に切り換わります。

#### 4 DVDの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、ディスクを取り出して電源OFFにしてください (20、23、25 ページ)。

## 本体のファンクションモードでの操作

### モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

#### 1 FUNCTION ボタンを押して、ファンクションモードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



RPT (リピート再生) (28 ページ)   PAUSE (ポーズ) (29 ページ)  
 DRC (ダイナミックレンジコントロール) (29 ページ) <sup>1</sup>   RPTに戻る

- ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

<sup>1</sup> ダイナミックレンジコントロールモードは、本機に、別売の 5.1ch 対応・DSP ユニット (「DEQ-P7」) を接続していないときだけ操作できます。

## リピート再生

今再生しているチャプター(タイトル)を繰り返し再生したり、1枚のディスクを繰り返し再生するなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

### 再生範囲について

再生範囲(繰り返し聞く範囲)は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
ディスクリピート	再生中のディスクを繰り返し再生します。(通常はこのモードにしておきます。)
チャプターリピート	再生中のチャプターを繰り返し再生します。
タイトルリピート	再生中のタイトルを繰り返し再生します。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、リピートモードを選ぶ



- 2** ◀または▶ ボタンを押して、再生範囲を切り換える

ボタンを押すごとに、再生範囲が次のように切り換わります。

DSC (ディスクリピート)    CHP (チャプターリピート)    TTL (タイトルリピート)  
DSCに戻る



- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



チャプターリピート中に表示されます。

- ・ディスクリピートで、ディスクの最後まで再生した場合、メニューを表示または再生を停止します。

## ポーズ

ディスクの再生を一時停止することができます。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、ポーズモードを選ぶ



- 2 ▲ ボタンを押して、ポーズを ON にする  
DVD 再生が一時停止します。

▼ ボタンを押すと OFF になります。



- 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



一時停止中に表示されます。

## ダイナミックレンジコントロール

ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音との幅のことです。ダイナミックレンジコントロールは、この幅を圧縮することで、音量を下げて楽しむ場合に小さな音も聞きとりやすくすることができます。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、ダイナミックレンジコントロールモードを選ぶ



- 2 ▲ ボタンを押して、ダイナミックレンジコントロールを ON にする

▼ ボタンで OFF になります。



- 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

- ・ ダイナミックレンジコントロールの効果を得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。また、本機のダイナミックレンジコントロールは、5.1chドルビーデジタル音声には効果がありません。
- ・ この機能は、本機に別売の5.1ch対応・DSPユニット(「DEQ-P7」)を接続しているときは、オーディオ調節モードで操作することができます(126ページ)。

# リモコンでの基本操作

## ディスク再生 DVD DVH

### 1 再生/一時停止 (▶/⏸)

ボタンを押す

▶ (再生マーク) が約 4 秒間表示され、ディスクが再生されます。

再生中に、再生/一時停止 (▶/⏸) ボタンを押すと、一時停止します。



・すでにDVDを使用していた場合は、前回の続きから再生されます。ディスクによっては、メニュー画面が表示され、前回の続きから再生できないものもあります。

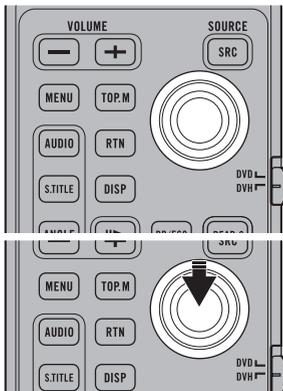
## メニュー画面の操作 DVD DVH

メニュー画面付きDVDの再生を開始すると、メニュー画面が表示されます。

### メニュー画面を表示するには

再生中にMENUボタンまたはTOP MENUボタンを押すことで、メニュー画面を表示することができます。もう一度押すと、メニュー画面に切り換えた場面から再生することができます。詳しくは、ディスクに添付されている説明書をご覧ください。

### 1 ジョイスティックを操作して、メニューを選ぶ



### 2 ジョイスティックを押す

選んだメニューから再生されます。

・メニュー表示や操作方法は、ディスクによって異なります。

## チャプターを進める/戻す DVD

### 次のチャプターへ進む

- 1 再生中にスキップ (▶▶) ボタンを押す  
チャプターナンバーが約 8 秒間表示され、次のチャプターに進みます。



### 前のチャプターへ戻る

- 1 再生中にスキップ (◀◀) ボタンを押す  
チャプターナンバーが約 8 秒間表示され、再生中のチャプターの先頭に戻ります。  
連続して二度操作すると、1つ前のチャプターの初めに戻ります。



## タイトル・チャプターを指定する (ダイレクトサーチ) DVD

### タイトルを指定する

- 1 停止中に、見たいタイトル番号の数字ボタンを押す  
3 を選ぶには、3 のボタンを押します。  
10 を選ぶには、10、0 と押します。  
23 を選ぶには、10、10、3 の順に押します。



- 2 ジョイスティックを押す  
タイトルナンバーが約 8 秒間表示され、指定したタイトルから再生されます。



## チャプターを指定する

- 1** 再生中に、見たいチャプター番号の数字ボタンを押す

3を選ぶには、3のボタンを押します。

10を選ぶには、10、0と押します。

23を選ぶには、10、10、3の順に押します。



- 2** ジョイスティックを押す

チャプターナンバーが約8秒間表示され、指定したチャプターから再生されます。



## 早送りする DVD DVH

- 1** 再生中に早送り (▶▶) ボタンを押し続ける

押している間、▶▶ (早送りマーク) が表示され、ディスクが早送りされます。



- 2** 見たい場所で手を離す

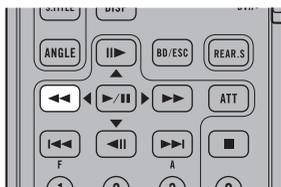
その場所から再生されます。

- ・早送り (▶▶) ボタンを5秒以上押すと、▶▶ (早送りマーク) の表示が反転し、ボタンから手を離しても早送りが継続されます。見たい場所で再生/一時停止 (▶||) ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ・ディスクによっては、早送りできない場所があり、その場所になると自動的に通常再生に切り換わります。

## 早戻しする DVD DVH

### 1 再生中に早戻し (◀◀) ボタンを押し続ける

押し続けている間、◀◀ (早戻しマーク) が表示され、ディスクが早戻しされます。



### 2 見たい場所で手を離す

その場所から再生されます。

- ・早戻し (◀◀) ボタンを5秒以上押し続けると、◀◀ (早戻しマーク) の表示が反転し、ボタンから手を離しても早戻しが継続されます。見たい場所で再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ・ディスクによっては、早戻しできない場所があり、その場所になると自動的に通常再生に切り換わります。

## 再生を止める DVD

ディスク再生を停止することができます。

### 1 停止 (■) ボタンを押す

■ (停止マーク) が約4秒間表示され、ディスク再生が停止します。



- ・停止 (■) ボタンで再生を停止したDVDは、停止した場所を記憶します。次に再生したとき、記憶している前回の停止場所から再生することができます。

## 静止画再生 DVD DVH

再生中の映像を一時停止して、静止画として見ることができます。

### 1 再生中に再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押す

|| (静止マーク) が約4秒間表示され、映像が一時停止します。

通常の再生に戻るには、再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押します。



- ・静止画再生中に音声を聞くことはできません。
- ・ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、静止画再生ができないことがあります。

## コマ送り再生 DVD

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見るすることができます。

### 1 再生中にコマ送り (||▶) ボタンを押す

コマ送り (||▶) ボタンを押すごとに、映像が1コマ送られます。

通常の再生に戻るには、再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押します。



- ・コマ送り再生中に音声を聞くことはできません。
- ・ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、コマ送り再生ができないことがあります。
- ・ディスクによっては、コマ送り時、映像が乱れることがあります。
- ・コマ戻しはできません。

## スロー再生 DVD

再生のスピードを遅くして見ることができます。

### 1 再生中にコマ送り (II▶) ボタンを 1 秒以上押す

▶ (スロー再生マーク) が表示され、映像がスローで再生されます。

通常の再生に戻るには、再生/一時停止 (▶||) ボタンを押します。

スロー再生中に、◀|| ボタンを押すと、スロー再生の速度を変更することができます。

◀|| ボタンを押すごとに、次の順で速度が切り換わります。

1/16    1/8    1/4    1/2  
もとのスピードに戻る



- ・スロー再生中に音声を聞くことはできません。
- ・ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、スロー再生ができないことがあります。
- ・ディスクによっては、スロー再生時、映像が乱れることがあります。
- ・戻り方向のスロー再生はできません。

## 再生中に音声言語を切り換える (マルチ音声) DVD

言語や音声タイプ (ドルビーデジタルや DTS など) の違いで複数の音声 が収録されている DVD では、再生中に音声を切り換えることができます。

### 1 再生中に AUDIO ボタンを押す

音声選択マーク (♪) が約 8 秒間表示されます。



### 2 音声選択マークが表示されている間に AUDIO ボタンを押す

ボタンを押すごとに、音声が切り換わります。



- ・この機能は、音声 が複数収録されている場合だけ有効です。
- ・DVD のパッケージに付いている (C) マークの数字が、収録音声の数を表しています。
- ・ディスクによっては、DVD に収録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。
- ・音声言語の切り換えは初期設定画面でも行うことができます。詳しくは、「基本音声の設定」(140 ページ) をご覧ください。
- ・DTS 音声は、デジタル出力のみ対応しています。  
本機の光デジタル出力を接続していない場合、DTS 音声は出力されませんので、DTS 以外の音声を選んでください。
- ・音声選択マークの表示中に、聞きたい音声番号の数字ボタンを押して切り換えることもできます。
- ・“Dolby D” や “5.1 ch” などの表示は、DVD に収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

## 再生中に字幕言語を切り換える (マルチ字幕) DVD

複数の字幕が収録されている DVD では、再生中に字幕を切り換えることができます。

### 1 再生中に SUBTITLE ボタンを押す

字幕選択マーク (  ) が約 8 秒間表示されます



### 2 字幕選択マークが表示されている間に SUBTITLE ボタンを押す

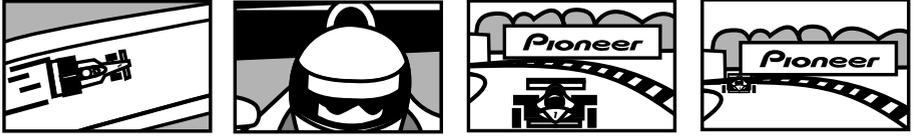
ボタンを押すごとに、字幕が切り換わります。



- ・この機能は、字幕が複数収録されている場合のみ有効です。
- ・DVDのパッケージに付いている  マークの数字が、収録字幕の数を表しています。
- ・ディスクによっては、DVDに収録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。
- ・字幕の切り換えは初期設定画面でも行うことができます。詳しくは、「基本字幕の設定」(139ページ)をご覧ください。
- ・字幕選択マークの表示中に、表示したい字幕言語番号の数字ボタンを押して切り換えることもできます。また、このときにCLEARボタンを押すと、字幕をオフにすることもできます。

## 再生中にアングルを切り換える (マルチアングル) DVD

複数の角度 (アングル) から撮影した映像が収録されている DVD では、再生中にアングルを切り換えることができます。



### アングル切り換えができる場面について

本機では、複数のアングルが収録されている場面を再生すると、画面左下に  (マルチアングルマーク) を表示して知らせます。

マルチアングルマーク表示の ON/OFF は、初期設定画面で行います。詳しくは、「マルチアングルマーク表示の設定」(143 ページ) をご覧ください。

#### 1 再生中に ANGLE ボタンを押す

マルチアングルマーク (  ) と現在のアングル番号 ( 1 ) が約 8 秒間表示されます。



#### 2 マルチアングルマークとアングル番号が表示されている間に ANGLE ボタンを押す

ボタンを押すごとに、アングルが切り換わります。



- この機能は、アングルが複数収録されている場合のみ有効です。
- マルチアングル収録された DVD のパッケージには、 マークが付いています。  
 マークの数字が、収録アングルの数を表示しています。
- 早送り/早戻し中、スロー再生中、一時停止中に ANGLE ボタンを押すと、早送り/早戻し、スロー再生、または一時停止を解除して通常再生に戻りますが、アングルは切り換わりません。
- マルチアングルマークとアングル番号の表示中に、見たいアングル番号の数字ボタンを押して切り換えることもできます。

# 情報画面での操作

## 情報画面の表示のしかた DVD DVH

タイトルやチャプター、時間で指定した場面から再生したり、リピート (繰り返し) 再生の範囲の切り換えなど、ディスク再生のほとんどの操作を行うことができます。また、音声や字幕の切り換えも行うことができます。

### 1 DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順で表示が切り換わります。

情報画面 1 情報画面 2  
表示オフ  
情報画面 1 に戻る



情報画面 1



情報画面 2



- ・タイトル、チャプターおよび時間の指定は、情報画面 1 または 2 のどちらでも行うことができます。本書では、タイトル、チャプターおよび時間の指定については、情報画面 1 の操作で説明しています。
- ・早送り/早戻し中に DISPLAY ボタンを押すと、通常の再生になります。

## 情報画面 1 での操作

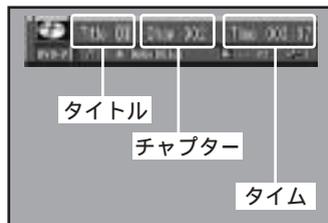
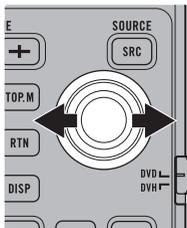
見たい場面をタイトルやチャプターを指定して探すサーチ機能や、時間を指定して探すタイムサーチ機能、音声の切り換え、字幕言語の切り換え、アングルの切り換えを行うことができます。

### 見たい場面を探す、指定した時間から再生する DVD DVH

タイトル、チャプターを指定して見たい場面を探し再生するタイトル/チャプターサーチ機能、指定した時間から再生するタイムサーチ機能を行うことができます。

#### 1 ジョイスティックを左右に操作して、項目を選ぶ

選んだ項目が青色で表示されます。



#### 2 希望の番号の数字ボタンを押す

##### タイトル、チャプターの場合

3を選ぶには、3のボタンを押します。

10を選ぶには、1、0と押します。

23を選ぶには、2、3と押します。

選ばれているタイトル、チャプターから10進めたい場合、10を押します。

- ・リモコンの操作モードがDVHモードの場合、数字(0～10)ボタンでの操作はできません。ジョイスティックで操作してください。

##### 時間(タイムサーチ)の場合

21分43秒を選ぶには、2、1、4、3と押します。

1時間11分を選ぶには、分に換算し、7、1、0、0と押します。

選ばれている時間から10秒ずつ進めたい場合、10を続けて押します。

- ・リモコンがDVHモードに設定されているときは、この操作はできません。

- ・CLEARボタンを押すと、入力した番号が消えます。
- ・タイトル、チャプターの選択は、ジョイスティックの上下操作でも行うことができます。

**3** 入力した番号が表示されている間にジョイスティックを押す

選んだ場面から再生されます。

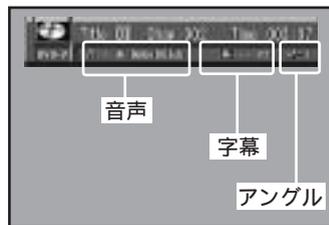
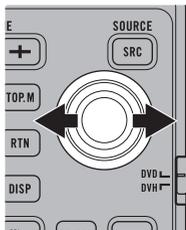
- ・メニューのあるディスクでは、MENU ボタンまたはTOP MENU ボタンを押してメニュー画面を表示し、選ぶこともできます。
- ・ディスクによっては、 (禁止マーク) が表示され、タイトルやチャプター、時間を指定できないことがあります。
- ・停止中のチャプターサーチやタイムサーチはできません。
- ・情報画面を表示しなくても、タイトルやチャプターを指定して再生することもできます。詳しくは「タイトル・チャプターを指定する(ダイレクトサーチ)」(31 ページ) をご覧ください。

**音声、字幕、アングルの切り換え DVD DVH**

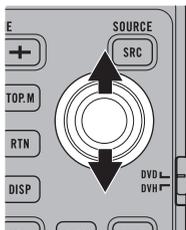
ディスク再生の音声(言語、またはドルビーデジタルのような音声タイプなど)や字幕、アングルを切り換えることができます。

**1** ジョイスティックを左右に操作して、項目を選ぶ

選んだ項目が青色で表示されます。

**2** ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

選んだ設定に切り換わります。



## 音声の場合

音声1    音声2    音声3

## 字幕の場合

字幕1    字幕2    字幕3

## アングルの場合

アングル1    アングル2    アングル3

次ページへつづく

- ・切り換わる数は、DVDに収録されている数により異なります。
- ・音声、字幕、アングルは、再生中にそれぞれのボタンで切り換えることもできます。(36～38ページ)
- ・“Dolby D”や“5.1ch”などの表示は、DVDに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。
- ・リモコンの操作モードがDVDモードの場合は、希望の番号の数字ボタンを押して、設定を切り換えることもできます。

## 情報画面 2 での操作

この画面では、情報画面 1 のサーチ機能、タイムサーチ機能に加え、リピート (繰り返し) 範囲の切り換えを行うことができます。

### リピート範囲の切り換え DVD DVH

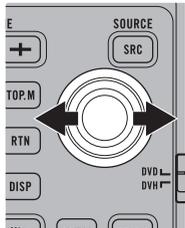
今再生しているチャプター (タイトル) を繰り返し再生したり、1 枚のディスクを繰り返し再生するなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

#### 再生範囲について

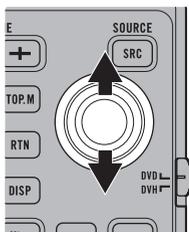
再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
ディスク	再生中のディスクを繰り返し再生します。(通常はこのモードにしておきます。)
タイトル	再生中のタイトルを繰り返し再生します。
チャプタ	再生中のチャプターを繰り返し再生します。

- 1 ジョイスティックを左右に操作して、リピート範囲の項目を選ぶ  
リピート範囲の項目が青色で表示されます。

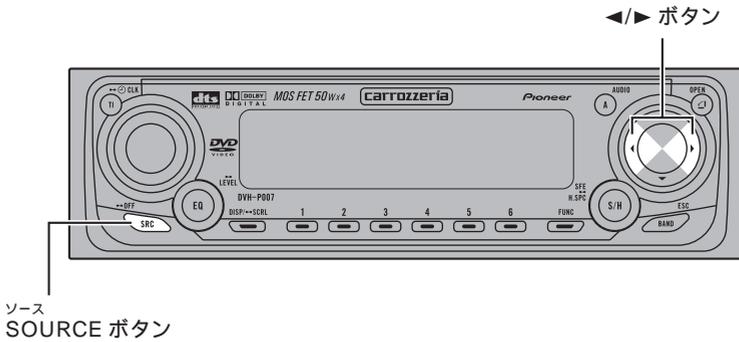


- 2** ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える  
選んだ設定に切り換わります。



- ・ ディスクリポートで、ディスクの最後まで再生した場合、メニューを表示または再生を停止します。

## 内蔵プレーヤーの操作 (ビデオCD)



## 本体での基本操作

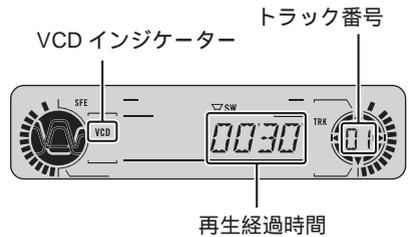
### ディスク再生/早送り・早戻し/トラック選択

- 1 SOURCE ボタンを押して、ソースをDVD (内蔵プレーヤー) に切り換える (「ソースを選ぶ」20 ページ)

内蔵プレーヤーが準備動作 (ディスクの情報の読み込みなど) をしているときは、画面上に“STOP”が表示され、ボタンでの操作はできません。

プレイバックコントロール (PBC) 機能付きビデオCDの再生を開始すると、画面上に“PBC”が表示されます。

プレイバックコントロール (PBC) 機能付きビデオCDの再生中に、メニュー画面が表示された場合は、リモコンの数字 (0 ~ 10) ボタンで再生を開始してください (「メニュー画面の操作」48 ページ)。



## 2 ◀または▶ ボタンを押して、再生したいトラックを選ぶ (または早送り/早戻し)

▶ : 次のトラックを選ぶとき (または早送り)

◀ : 前のトラックを選ぶとき (または早戻し)



トラック番号

### トラック選択と早送り/早戻しの使い分け

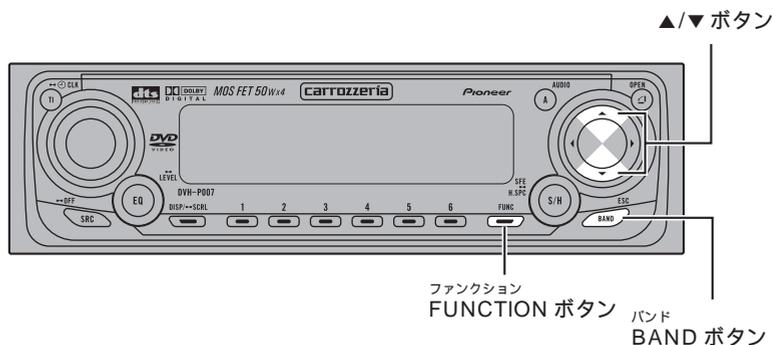
トラックの選択	0.5 秒未満
早送り/早戻し	0.5 秒以上

◀/▶ ボタンを5秒以上押すと、ボタンから手を離しても早送り/早戻しが継続されます。見たい場所でリモコンの再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押すと、その場所から再生されます。

ディスクによっては、早送り/早戻しできない場所があり、その場所になると自動的に通常再生に切り換わります。

## 3 ビデオCDの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、ディスクを取り出して電源OFFにしてください (20、23、25 ページ)。



## 本体のファンクションモードでの操作

### モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、ファンクションモードを切り換える  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



RPT (リピート再生)   PAUSE (ポーズ)   RPTに戻る

- ・ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

### リピート再生

今再生しているトラックを繰り返し再生したり、1 枚のディスクを繰り返し再生するなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

- 1 FUNCTION ボタンを押して、リピートモードを選ぶ



**2** ▲ボタンを押して、リピート再生をONにする

今再生しているトラックを繰り返し再生します。

▼ボタンでOFFになります。



**3** BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除する



リピート再生中に表示されます。

・プレイバックコントロール (PBC) 再生中は、リピートのON/OFFはできません。

## ポーズ

ディスクの再生を一時停止することができます。

**1** FUNCTIONボタンを押して、ポーズモードを選ぶ



**2** ▲ボタンを押して、ポーズをONにする  
ビデオCD再生が一時停止します。

▼ボタンでOFFになります。



**3** BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除する



一時停止中に表示されます。

# リモコンでの操作

## ディスク再生 DVD DVH

### 1 再生/一時停止 (▶/⏸) ボタンを押す

▶ (再生マーク) が約 4 秒間表示され、ディスクが再生されます。

再生中に、再生/一時停止 (▶/⏸) ボタンを押すと、一時停止します。



- ・すでにビデオCD (PBC再生時のみ) を使用していた場合は、前回の続きから再生されます。ディスクによっては、メニュー画面が表示され、前回の続きから再生できないものもあります。

## メニュー画面の操作 DVD

PBC機能付きビデオCDの再生を開始すると、メニュー画面が表示されます。

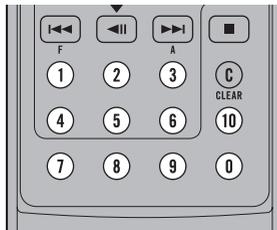
### メニュー画面を表示するには

PBC (プレイバックコントロール) 再生中に RETURN ボタンを押すことで、メニュー画面を表示することができます。詳しくは、ディスクに添付されている説明書をご覧ください。

### 1 数字ボタンを押して、メニューを選ぶ

選んだメニューから再生されます。

ジョイスティックでは操作できません。



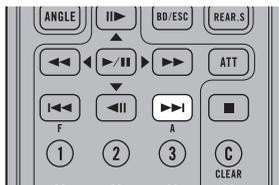
- ・メニュー画面が 2 ページ以上あるときは、スキップ (◀◀ または ▶▶) ボタンを押して表示を切り換えます。
- ・メニュー画面を表示しない (PBCをOFFにする) で再生するには、停止中に再生したいトラック番号の数字ボタンを押します。PBC再生に戻すには、一度停止させ再生/一時停止 (▶/⏸) ボタンを押します。

## トラックを進める/戻す DVD

### 次のトラックへ進む

- 1 再生中にスキップ (▶▶) ボタンを押す

トラックナンバーが約 8 秒間表示され、次のトラックに進みます。

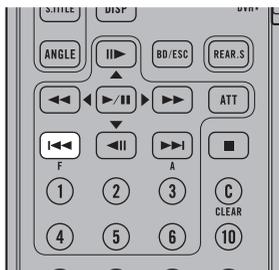


### 前のトラックへ戻る

- 1 再生中にスキップ (◀◀) ボタンを押す

トラックナンバーが約 8 秒間表示され、再生中のトラックの先頭に戻ります。

連続して二度操作すると、1つ前のトラックの初めに戻ります。



## トラックを指定する (ダイレクトサーチ) DVD

### トラックを指定する

- 1 停止中に、見たいトラック番号の数字ボタンを押す

トラックナンバーが約 8 秒間表示され、指定したトラックから再生されます。

3 を選ぶには、3 のボタンを押します。

10 を選ぶには、10、0 と押します。

23 を選ぶには、10、10、3 の順に押します。



・ PBC (プレイバックコントロール) 再生中にダイレクトサーチをすることはできません。

## 早送りする DVD DVH

### 1 再生中に早送り (▶▶) ボタンを押し続ける

押している間、▶▶ (早送りマーク) が表示され、ディスクが早送りされます。



### 2 見たい場所で手を離す

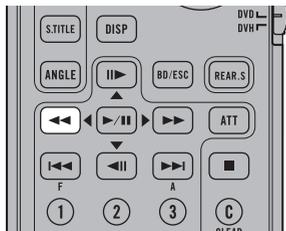
その場所から再生されます。

- ・早送り (▶▶) ボタンを5秒以上押すと、▶▶ (早送りマーク) の表示が反転し、ボタンから手を離しても早送りが継続されます。再生したい場所で再生/一時停止 (▶/II) ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ・ディスクによっては、早送りできない場所があり、その場所になると自動的に通常再生に切り換わります。

## 早戻しする DVD DVH

### 1 再生中に早戻し (◀◀) ボタンを押し続ける

押している間、◀◀ (早戻しマーク) が表示され、ディスクが早戻しされます。



### 2 見たい場所で手を離す

その場所から再生されます。

- ・早戻し (◀◀) ボタンを5秒以上押すと、◀◀ (早戻しマーク) の表示が反転し、ボタンから手を離しても早戻しが継続されます。再生したい場所で再生/一時停止 (▶/II) ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ・ディスクによっては、早戻しできない場所があり、その場所になると自動的に通常再生に切り換わります。

## 再生を止める DVD

ディスクの再生を停止することができます。

### 1 停止 (■) ボタンを押す

■ (停止マーク) が約 4 秒間表示され、ディスク再生が停止します。



- ・ 停止 (■) ボタンで再生を停止したビデオ CD (PBC再生時のみ) は、停止した場所を記憶します。次に再生したとき、記憶している前回の停止場所から再生することができます。

## 静止画再生 DVD DVH

再生中の映像を一時停止して、静止画として見るすることができます。

### 1 再生中に再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押す

|| (静止マーク) が約 4 秒間表示され、映像が一時停止します。

通常の再生に戻るには、再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押します。



- ・ 静止画再生中に音声を聞くことはできません。
- ・ ディスクまたは再生位置によっては、禁止マーク (⊘) が表示され、静止画再生ができないことがあります。

## スロー再生 DVD

再生のスピードを遅くして見るができます。

### 1 再生中にコマ送り (II▶) ボタンを1秒以上押す

▶ (スロー再生マーク) が表示され、映像がスローで再生されます。

通常の再生に戻るには、再生/一時停止 (▶/II) ボタンを押します。

スロー再生中に、◀II ボタンを押すと、スロー再生の速度を変更することができます。

◀II ボタンを押すごとに、次の順で速度が切り換わります。

1/16    1/8    1/4    1/2  
もとのスピードに戻る



- ・スロー再生中に音声を聞くことはできません。
- ・ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク) が表示され、スロー再生ができないことがあります。
- ・ディスクによっては、スロー再生時、映像が乱れることがあります。
- ・戻り方向のスロー再生はできません。

# 情報画面での操作

## 情報画面の表示のしかた DVD DVH

見たい場面をトラックを指定して探すサーチ機能や時間を指定して探すタイムサーチ機能、音声の出力方法の切り換え、リピート範囲の切り換えを行うことができます。PBC (プレイバックコントロール) 再生中は“PLAYBACK CONTROL ON”が表示され、サーチ機能やタイムサーチ機能、リピート範囲の切り換えはできません。

### 1 DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順で表示が切り換わります。

情報画面 表示オフ  
情報画面に戻る



情報画面



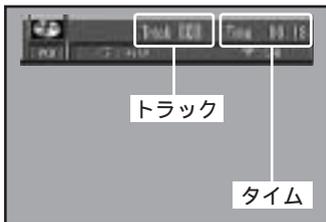
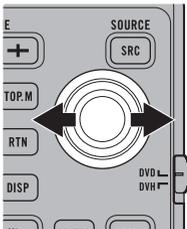
・早送り/早戻し中にDISPLAYボタンを押すと、通常の再生になります。

## 見たい場面を探す、指定した時間から再生する DVD DVH

トラックを指定して見たい場面を探し再生するトラックサーチ機能、指定した時間から再生するタイムサーチ機能を行うことができます。

### 1 ジョイスティックを左右に操作して、項目を選ぶ

選んだ項目が青色で表示されます。



次ページへつづく

## 2 希望の番号の数字ボタンを押す

### トラックの場合

3を選ぶには、3のボタンを押します。

10を選ぶには、1、0と押します。

23を選ぶには、2、3と押します。

選ばれているトラックから10進めたい場合、10を押します。

- ・リモコンの操作モードがDVHモードの場合、数字(0～10)ボタンでの操作はできません。ジョイスティックで操作してください。

### 時間(タイムサーチ)の場合

21分43秒を選ぶには、2、1、4、3と押します。

1時間11分を選ぶには、分に換算し、7、1、0、0と押します。

選ばれている時間から10秒ずつ進めたい場合、10を続けて押します。

- ・リモコンがDVHモードに設定されているときは、この操作はできません。

- ・CLEARボタンを押すと、入力した番号が消えます。
- ・トラックの選択は、ジョイスティックの上下操作でも行うことができます。

## 3 入力した番号が表示されている間にジョイスティックを押す

選んだ場面から再生されます。

- ・停止中のタイムサーチはできません。
- ・情報画面を表示しなくても、タイトルやチャプターを指定して再生することもできます。詳しくは「トラックを指定する(ダイレクトサーチ)」(49ページ)をご覧ください。

## 再生範囲の切り換え DVD DVH

繰り返し再生する範囲を「ディスク」、または「トラック」に切り換えることができます。

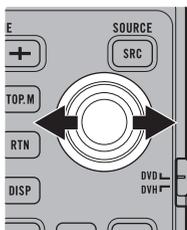
### 再生範囲について

再生範囲(繰り返し聞く範囲)は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
ディスク	再生中のディスクを繰り返し再生します。(通常はこのモードにしておきます。)
トラック	再生中のトラックを繰り返し再生します。

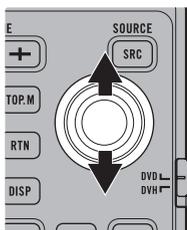
**1** ジョイスティックを左右に操作して、リピート範囲の項目を選ぶ

リピート範囲の項目が青色で表示されます。



**2** ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

選んだ設定に切り換わります。



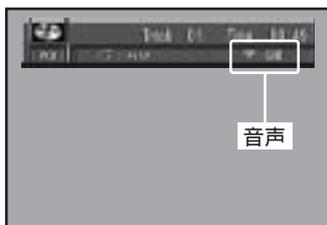
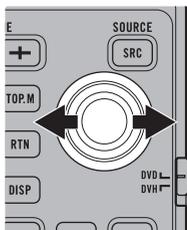
・ ディスクリポートで、ディスクの最後まで再生した場合、メニューを表示または再生を停止します。

## 音声の出力方法の切り換え DVD DVH

音声の出力方法を、ステレオまたはモノラルに切り換えることができます。

**1** ジョイスティックを左右に操作して、音声の項目を選ぶ

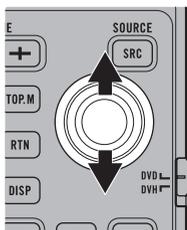
音声の項目が青色で表示されます。



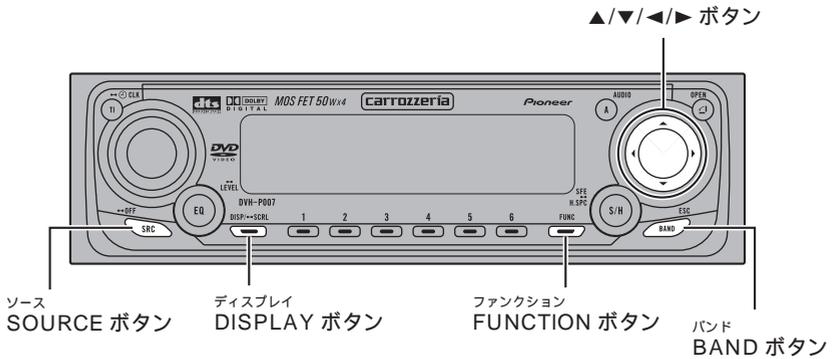
**2** ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

選んだ設定に切り換わります。

L+R (左+右)    L (左)  
R (右)



## 内蔵プレーヤーの操作 (CD)



## 本体での基本操作

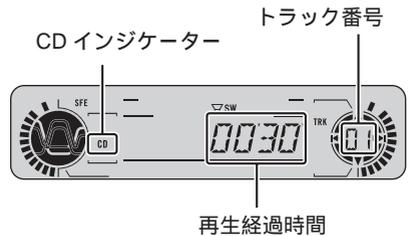
### ディスク再生/早送り・早戻し/トラック選択

- 1** SOURCE ボタンを押して、ソースを DVD (内蔵プレーヤー) に切り換える (「ソースを選ぶ」20 ページ)

内蔵プレーヤーが準備動作 (ディスクの情報の読み込みなど) をしているときは、画面上に“STOP”が表示され、ボタンでの操作はできません。

「CD TEXT」を再生している場合、ディスクをセットしたときや、他のソースから内蔵プレーヤーに切り換えたときなどに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。

- 2** ◀または▶ ボタンを押して、再生したいトラックを選ぶ (または早送り/早戻し)
- ▶ : 次のトラックを選ぶとき (または早送り)
  - ◀ : 前のトラックを選ぶとき (または早戻し)



#### トラック選択と早送り/早戻しの使い分け

トラックの選択	0.5 秒未満
早送り/早戻し	0.5 秒以上

### 3 CDの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、ディスクを取り出して電源OFFにしてください(20、23、25 ページ)。

## 本体のファンクションモードでの操作

### モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

#### 1 FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



RPT (リピート再生) RDM (ランダム再生) (58 ページ)  
SCAN (スキャン再生) (58 ページ) PAUSE (ポーズ) (59 ページ) RPT に戻る

・ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

### リピート再生

今再生しているトラックを繰り返し再生したり、1枚のディスクを繰り返し再生するなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

#### 1 FUNCTION ボタンを押して、リピートモードを選ぶ



#### 2 ▲ ボタンを押して、リピート再生を ON にする

今再生しているトラックを繰り返し再生します。

▼ ボタンで OFF になります。



#### 3 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



リピート再生中に表示されます。

## ランダム再生

選曲を内蔵プレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、ランダムモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、ランダム再生を ON にする

次の曲からランダムに再生します。

▼ ボタンで OFF になります。



- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



ランダム再生中に表示されます。

## スキャン再生

曲の初めの部分だけを、約 10 秒間ずつ次々に聞くことができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、スキャンモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、スキャン再生を ON にする

スキャン再生が ON になります。

曲の始めの 10 秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約 30 秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

- 3** 聞きたい曲が再生されたら、▼ボタンを押して、スキャン再生をOFFにする

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。



- 4** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

・スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

## ポーズ

ディスクの再生を一時停止することができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、ポーズモードを選ぶ



- 2** ▲ボタンを押して、ポーズをONにする  
CD再生が一時停止します。  
▼ボタンでOFFになります。



- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



一時停止中に表示されます。

## タイトル入力

CDのタイトルを入力することができます。また、入力したタイトルは、ディスプレイに表示させることができます。

### タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

タイトルは8文字まで入力できます。

内蔵CDのタイトルは、48枚分の記憶ができます。

48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを取り出しても消えません。

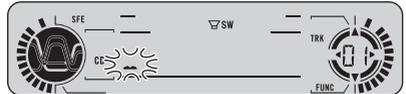
- 1 FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して、タイトル入力モードを選ぶ



- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、タイトルを入力する

入力する位置を選ぶとき

- ◀ : 左に移動させるとき
- ▶ : 右に移動させるとき



入力する位置でカーソルが点滅します。8文字まで入力することができます。

入力する文字を選ぶとき

- ▲ : 次の文字を選ぶとき
- ▼ : 前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

文字は空白 ( \_ )、アルファベット (A ~ Z)、記号 (\*、+、-、/ など)、数字 (0 ~ 9) の中から選ぶことができます。

### 3 入力が終わったら、8文字目を点滅させる

余ったところを空白にして、8文字目を点滅させます。



### 4 ▶ ボタンを押して、入力したタイトルを記憶させる

入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。



### 5 BAND ボタンを押して、タイトル入力モードを解除する

- ・タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) に BAND ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

## ディスクタイトル表示

タイトル入力で入力した CD のタイトルを表示させることができます。

### 1 DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示

ディスクタイトル (DISC TTL)

再生経過時間表示に戻る



## タイトル表示 (「CD TEXT」)

内蔵プレーヤーに「CD TEXT」をセットしたときに、ディスクタイトル (ディスク名)、ディスクアーティストネーム (歌手名) などを表示させることができます。一度に8文字まで表示させることができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

### 「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークの付いているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)

本機の「CD TEXT」文字表示は、英数字のみに対応しています。



- ・表示をディスクタイトル (DISC TTL)、トラックタイトル (TRK TTL) などに切り換え  
たときに、自動的に1回スクロール表示します。

## 表示切り換え

### 1 DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



- 再生経過時間表示    ディスクタイトル (DISC TTL)
- ディスクアーティストネーム (ART NAME)
- トラックタイトル (TRK TTL)    トラックアーティストネーム (ART NAME)
- 再生経過時間表示に戻る

- ・トラックアーティストネーム (ART NAME) などが収録されていないCDで表示を切り換えると、“NO NAME” などが表示されます。

## 隠れている文字を表示する

### 1 DISPLAY ボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順に表示されていきます。

# リモコンでの操作

## 早送りする DVD DVH

- 1 再生中に早送り (▶▶) ボタンを押し続ける  
押している間、▶▶ (早送りマーク) が表示され、ディスクが早送りされます。



- 2 聞きたい場所で手を離す  
その場所から再生されます。

## 早戻しする DVD DVH

- 1 再生中に早戻し (◀◀) ボタンを押し続ける  
押している間、◀◀ (早戻しマーク) が表示され、ディスクが早戻しされます。



- 2 聞きたい場所で手を離す  
その場所から再生されます。

## 一時停止 DVD DVH

ディスクの再生を一時停止することができます。

- 1** 再生中に再生/一時停止  
(▶/||) ボタンを押す

|| (静止マーク) が約 4 秒間表示され、映像が一時停止します。

通常の再生に戻るには、再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押します。



## 再生を止める DVD

ディスクの再生を停止することができます。

- 1** 停止 (■) ボタンを押す

■ (停止マーク) が約 4 秒間表示され、ディスク再生が停止します。



- ・ 停止 (■) ボタンで再生を停止した CD は、停止した場所を記憶します。次に再生したとき、記憶している前回の停止場所から再生することができます。

# 情報画面での操作

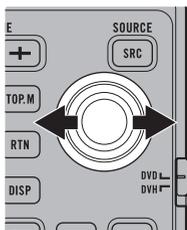
トラックを指定して聞きたい場所を探すサーチ機能、リピート範囲の切り換え、ランダム再生のオン/オフ、スキャン再生のオン/オフを行うことができます。

## 聞きたい場所を探す DVD DVH

トラックを指定して聞きたい場所を探し再生するトラックサーチ機能を行うことができます。

- 1** ジョイスティックを左右に操作して、トラックの項目を選ぶ

トラックの項目が青色で表示されます。



- 2** 希望の番号の数字ボタンを押す

3を選ぶには、3のボタンを押します。

10を選ぶには、1、0と押します。

23を選ぶには、2、3と押します。

選ばれているトラックから10進めたい場合、10を押します。

・リモコンの操作モードがDVHモードの場合、数字(0～10)ボタンでの操作はできません。ジョイスティックで操作してください。

- ・ CLEAR ボタンを押すと、入力した番号が消えます。
- ・ トラックの選択は、ジョイスティックの上下操作でも行うことができます。

- 3** 入力した番号が表示されている間にジョイスティックを押す  
選んだ場所から再生されます。

## 再生範囲の切り換え DVD DVH

繰り返し再生する範囲を「ディスク」または「トラック」に切り換えることができます。

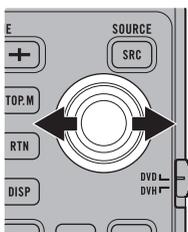
### 再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
ディスク	再生中のディスクを繰り返し再生します。(通常はこのモードにしておきます。)
トラック	再生中のトラックを繰り返し再生します。

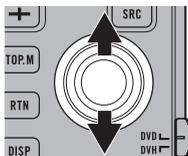
- 1** ジョイスティックを左右に操作して、リピート範囲の項目を選ぶ

リピート範囲の項目が青色で表示されます。



- 2** ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

選んだ設定に切り換わります。

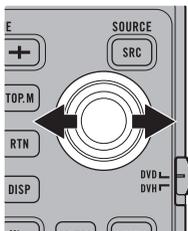


## ランダム再生のオン/オフ DVD DVH

選曲を内蔵プレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順（ランダム）で再生することができます。

- 1** ジョイスティックを左右に操作して、ランダム再生の項目を選ぶ

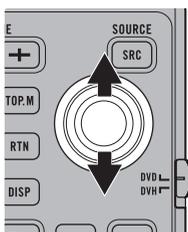
ランダム再生の項目が青色で表示されます。



- 2** ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

オン オフ

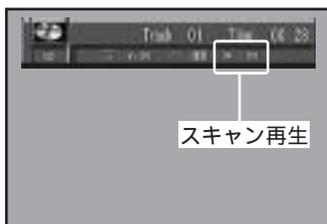
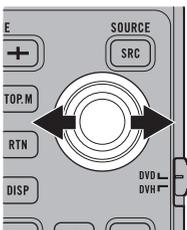
オンにすると、ランダム再生が始まります。



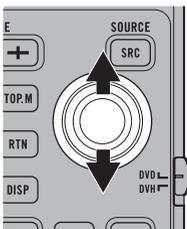
## スキャン再生のオン/オフ DVD DVH

曲の初めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

- 1 ジョイスティックを左右に操作して、スキャン再生の項目を選ぶ  
スキャン再生の項目が青色で表示されます。



- 2 ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える  
オン オフ  
オンにすると、スキャン再生が始まります。



- 3 聞きたい曲が再生されたら、ジョイスティックを操作してオフに切り換える

・スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

## タイトル表示 DVD DVH

タイトル入力 (60 ページ) で入力したタイトルを表示させたり、「CD TEXT」に収録されたタイトルなどを表示させることができます。。

- 1 DISPLAY ボタンを押す  
ボタンを押すごとに、次の順で表示が切り換わります。



入力したタイトルを表示させるとき

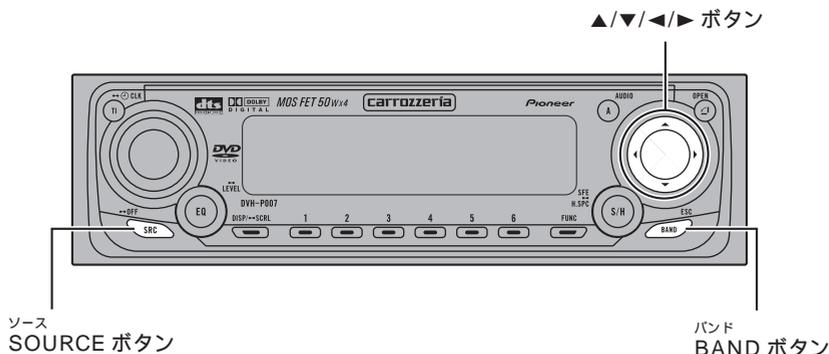
再生経過時間表示    ディスクタイトル (Disc Title)    再生経過時間表示に戻る

「CD TEXT」に収録されたタイトルを表示させるとき

再生経過時間表示    ディスクタイトル (Disc Title)  
ディスクアーティストネーム (Disc Artist)    トラックタイトル (Track Title)  
トラックアーティストネーム (Track Artist)    再生経過時間表示に戻る

・「CD TEXT」に収録された文字によっては、本機では表示できないことがあります。

## 内蔵プレーヤーの操作 (MP3)

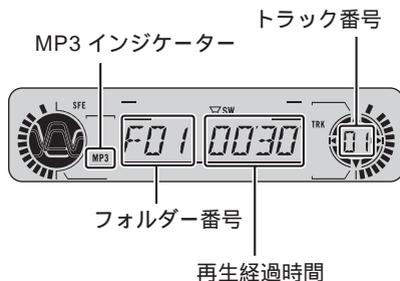


## 本体での基本操作

### フォルダー選択/トラック選択/早送り・早戻し

- 1** SOURCE ボタンを押して、ソースを DVD (内蔵プレーヤー) に切り換える (「ソースを選ぶ」20 ページ)

内蔵プレーヤーが準備動作 (ディスクの情報の読み込みなど) をしているときは、画面上に“STOP”が表示され、ボタンでの操作はできません。



- 2** ▲または▼ボタンを押して聞きたいフォルダーを選ぶ

- ▲ : 次のフォルダーを選ぶとき
- ▼ : 前のフォルダーを選ぶとき

BAND ボタンを2秒以上押すと、フォルダー 01 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー 01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。

フォルダー番号が100を超えたときは、フォルダー番号の“F”の文字が消えて、フォルダー番号を表示します。



- 3** ◀または▶ ボタンを押して、再生したいトラックを選ぶ (または早送り/早戻し)
- ▶ : 次のトラックを選ぶとき (または早送り)
  - ◀ : 前のトラックを選ぶとき (または早戻し)



トラック番号

#### トラック選択と早送り/早戻しの使い分け

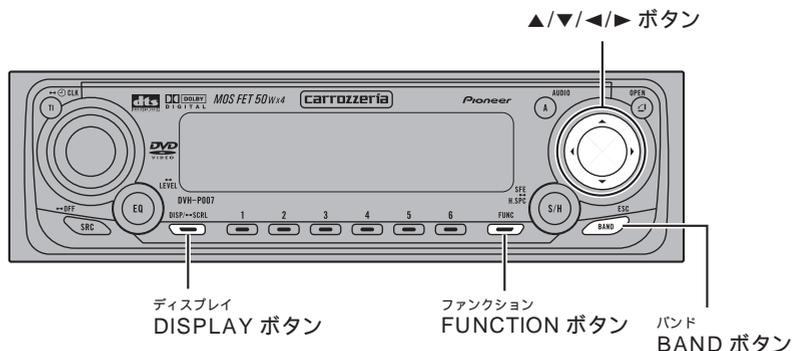
トラックの選択	0.5 秒未満
早送り/早戻し	0.5 秒以上

- 曲を選んだときに、ファイル名を自動的に 1 回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、自動的にスクロール表示しません。
- MP3 ファイルの早送り/早戻しをしているときは、音は出力されません。
- 1 つのフォルダーに 100 曲以上の曲が収録されているときは、トラック番号の上の▶が点灯します。1 つのフォルダーに 200 曲以上の曲が収録されているときは、トラック番号の上の▶が点滅します。

#### 4 MP3 の再生をやめる

他のソースに切り換えるか、ディスクを取り出して電源 OFF にしてください (20、23、25 ページ)。

- VBR (可変ビットレート) で録音されたファイルを早送り/早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。
- MP3 ファイルと、音楽データが混在しているディスクの場合は、BAND ボタンを押して、MP3 ファイルと、音楽データを切り換えて再生することができます。MP3 ファイルと、音楽データを切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。このとき、音楽データ側に記録された文字情報は表示されません。



## 本体のファンクションモードでの操作

### モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

#### 1 FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



RPT (リピート再生)    RDM (ランダム再生) (72 ページ)  
 SCAN (スキャン再生) (72 ページ)    PAUSE (ポーズ) (74 ページ)  
 RPTに戻る

- ・ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

# リピート再生

今再生しているトラックを繰り返し再生したり、1つのフォルダーを繰り返し再生するなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

## 再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
ディスクリピート	再生中のディスクを繰り返し再生します。(通常はこのモードにしておきます。)
トラックリピート	再生中のトラックを繰り返し再生します。
フォルダーリピート	再生中のフォルダーを繰り返し再生します。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、リピートモードを選ぶ



- 2** ◀または▶ ボタンを押して、再生範囲を切り換える

ボタンを押すごとに、再生範囲が次のように切り換わります。

DSC (ディスクリピート)   TRK (トラックリピート)   FLD (フォルダーリピート)  
DSCに戻る



- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



トラックリピート中に表示されます。

## ランダム再生

選曲を内蔵プレイヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

- 1 リピートモードにして、再生範囲を選ぶ  
(71 ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

- 2 FUNCTION ボタンを押して、ランダムモードを選ぶ



- 3 ▲ ボタンを押して、ランダム再生を ON にする

次の曲から、ランダムに再生されます。

▼ ボタンを押すと OFF になります。



- 4 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

表示と再生範囲の関係は、次のようになっています。

表示	再生範囲
FRDM	フォルダーリピート
RDM	ディスクリピート



ランダム再生中に表示されます。

- ・トラックリピートのときに、ランダム再生を ON にすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わり、ランダム再生します。

## スキャン再生

今聞いているフォルダーの曲の始めの部分だけを、約 10 秒間ずつ次々に聞くことができます。また、全てのフォルダーの 1 曲目の始めの部分だけを、次々に聞くこともできます。

- 1 リピートモードにして、再生範囲を選ぶ  
(71 ページ)

選んだ再生範囲内でスキャン再生が行われます。

聞きたい曲をさがすとき  
(トラックスキャン再生)

◀または▶ ボタンを押して、フォルダー  
リピートにする

再生中のフォルダーの全曲を、約 10 秒ずつ  
再生することができます。

聞きたいフォルダーをさがすとき  
(フォルダースキャン再生)

◀または▶ ボタンを押して、ディスク  
リピートにする

再生中のディスク内すべてのフォルダーの 1  
曲目だけを、約 10 秒ずつ再生することが  
できます。

**2** FUNCTION ボタンを押して、スキャン  
モードを選ぶ



**3** ▲ ボタンを押して、スキャン再生を ON に  
する

曲の始めの約 10 秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約 30 秒たつと、自動的  
にファンクションモードが解除されます。

表示と再生範囲の関係は、次のようになってい  
ます。

表示	選択範囲
FSCAN	フォルダーリピート
SCAN	ディスクリピート



スキャン再生中に表示されます。

**4** 聞きたい曲 (フォルダー) が再生されたら、  
スキャンモードにしてから、▼ ボタンを押  
して、スキャン再生を OFF にする

ファンクションモードが解除されていたら、手  
順 2 の操作を行ってもう一度スキャンモードに  
してから、スキャン再生を OFF にしてくだ  
さい。



## 5 BAND ボタンを押して、ファンクション モードを解除する

- ・ スキャン再生を始めた曲 (またはフォルダー) まで戻るとスキャン再生は解除されます。
- ・ トラックリピートのときに、スキャン再生を ON にすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わり、スキャン再生します。

## ポーズ

ディスクの再生を一時停止することができます。

### 1 FUNCTION ボタンを押して、ポーズ モードを選ぶ



### 2 ▲ ボタンを押して、ポーズを ON にする MP3 再生が一時停止します。 ▼ ボタンで OFF になります。



### 3 BAND ボタンを押して、ファンクション モードを解除する



一時停止中に表示されます。

## タイトル表示

MP3 ファイルに記録された、曲名やフォルダー名、アルバム名などの文字情報などを表示させることができます。

### 表示切り換え

#### 1 DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



再生経過時間表示    フォルダー名 (FOLDER)    ファイル名 (FILE)  
曲名 (TRK TTL)    歌手名 (ART NAME)    アルバム名 (ALBM TTL)  
ビットレート表示    再生経過時間表示に戻る

- ・曲名 (TRK TTL) などが収録されていないCD-ROM で表示を切り換えると、“NO T-TTL” などが表示されます。
- ・本機の文字表示は、英数字のみに対応しています。

### 隠れている文字を表示する

#### 1 DISPLAY ボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順に表示されていきます。

## リモコンでの操作

### 早送りする DVD DVH

- 1 再生中に早送り (▶▶) ボタンを押し続ける  
押している間、▶▶ (早送りマーク) が表示され、ディスクが早送りされます。



- 2 聞きたい場所で手を離す  
その場所から再生されます。

### 早戻しする DVD DVH

- 1 再生中に早戻し (◀◀) ボタンを押し続ける  
押している間、◀◀ (早戻しマーク) が表示され、ディスクが早戻しされます。



- 2 聞きたい場所で手を離す  
その場所から再生されます。

## 一時停止 DVD DVH

ディスクの再生を一時停止することができます。

### 1 再生中に再生/一時停止 (▶/⏸) ボタンを押す

⏸ (静止マーク) が約 4 秒間表示され、映像が一時停止します。

通常の再生に戻るには、再生/一時停止 (▶/⏸) ボタンを押します。



## 再生を止める DVD

ディスクの再生を停止することができます。

### 1 停止 (■) ボタンを押す

■ (停止マーク) が約 4 秒間表示され、ディスク再生が停止します。



- ・ 停止 (■) ボタンで再生を停止した MP3 ディスクは、停止した場所を記憶します。次に再生したとき、記憶している前回の停止場所から再生することができます。

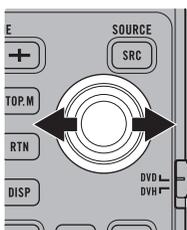
## 情報画面での操作

フォルダーやトラックを指定して聞きたい場所を探すサーチ機能、リピート範囲の切り換え、ランダム再生のオン/オフ、スキャン再生のオン/オフを行うことができます。

### 聞きたい場所を探す DVD DVH

フォルダー、トラックを指定して聞きたい場所を探し再生するフォルダー/トラックサーチ機能を行うことができます。

- 1** ジョイスティックを左右に操作して、項目を選ぶ  
選んだ項目が青色で表示されます。



- 2** 希望の番号の数字ボタンを押す

3を選ぶには、3のボタンを押します。  
10を選ぶには、1、0と押します。  
23を選ぶには、2、3と押します。  
選ばれているフォルダー、トラックから10進めたい場合、10を押します。  
・リモコンの操作モードがDVHモードの場合、数字(0～10)ボタンでの操作はできません。  
ジョイスティックで操作してください。

- ・CLEARボタンを押すと、入力した番号が消えます。
- ・トラックの選択は、ジョイスティックの上下操作でも行うことができます。

- 3** 入力した番号が表示されている間にジョイスティックを押す  
選んだ場所から再生されます。

## リピート範囲の切り換え DVD DVH

今再生しているトラックを繰り返し再生したり、1つのフォルダーを繰り返し再生するなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

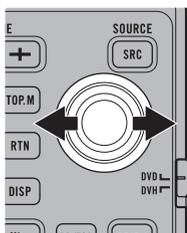
### 再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
ディスク	再生中のディスクを繰り返し再生します。(通常はこのモードにしておきます。)
フォルダ	再生中のフォルダーを繰り返し再生します。
トラック	再生中のトラックを繰り返し再生します。

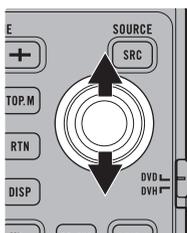
- 1** ジョイスティックを左右に操作して、リピート範囲の項目を選ぶ

リピート範囲の項目が青色で表示されます。



- 2** ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

選んだ設定に切り換わります。



## ランダム再生のオン/オフ DVD DVH

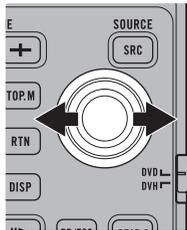
選曲を内蔵プレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

- 1** リpeatモードにして、再生範囲を選ぶ  
(79 ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

- 2** ジョイスティックを左右に操作して、ランダム再生の項目を選ぶ

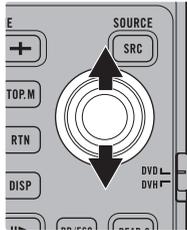
ランダム再生の項目が青色で表示されます。



- 3** ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

オン オフ

オンにすると、ランダム再生が始まります。



- ・トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がフォルダリピートに切り換わり、ランダム再生します。

## スキャン再生のオン/オフ DVD DVH

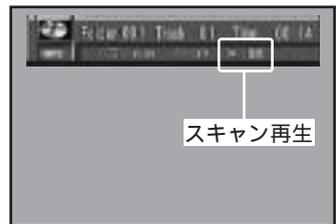
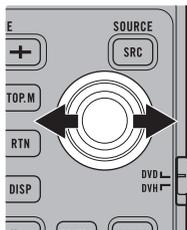
今聞いているフォルダの曲の初めの部分だけを、約10秒間ずつ徐々に聞くことができます。また、全てのフォルダの1曲目の部分だけを、徐々に聞くこともできます。

- 1** リpeatモードにして、再生範囲を選ぶ  
(79 ページ)

選んだ再生範囲内でスキャン再生が行われます。

- 2** ジョイスティックを左右に操作して、スキャン再生の項目を選ぶ

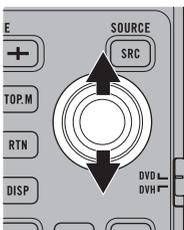
スキャン再生の項目が青色で表示されます。



**3** ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定に切り換える

オン オフ

オンにすると、スキャン再生が始まります。



**4** 聞きたい曲が再生されたら、ジョイスティックを操作してオフに切り換える

- ・ スキャン再生を始めた曲 (またはフォルダー) まで戻るとスキャン再生は解除されます。
- ・ トラックリピートのときに、スキャン再生を ON にすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わり、スキャン再生します。

## タイトル表示 DVD DVH

MP3 ファイルに記録された、曲名やフォルダー名、アルバム名などの文字情報などを表示させることができます。

**1** DISPLAY ボタンを押す

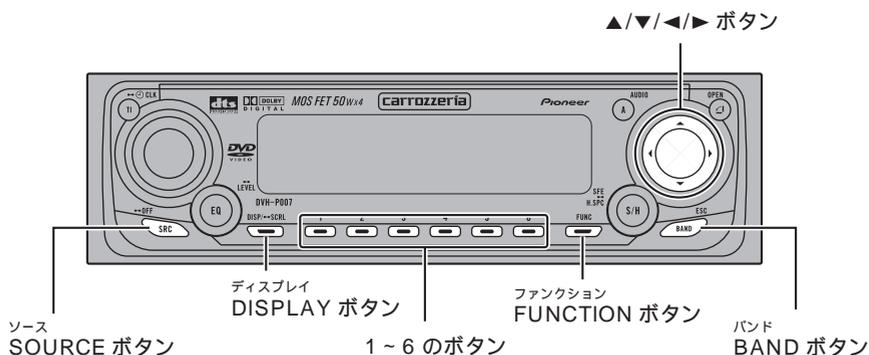
ボタンを押すごとに、次の順で表示が切り換わります。



再生経過時間表示    フォルダー名 (Folder Name)    ファイル名 (File Name)  
曲名 (Track Title)    歌手名 (Artist Name)    アルバム名 (Album Title)  
コメント (Comment)    ビットレート表示 (Bit Rate)    再生経過時間表示に戻る

- ・ 漢字、カナなどで入力されたタイトルは、本機では正しく表示できません。正しく表示させるためには、英数字でタイトルを入力してください。
- ・ MP3 ファイルに記録された文字によっては、本機では表示できないことがあります。

## ラジオの操作



## ラジオの操作

## バンド選択/放送局選択

## リモコンの操作モードが DVH モードの場合

- ・リモコンの操作モードが DVH モードの場合、本体のボタンに対応したボタンで、ラジオの操作をすることができます。リモコンの操作モードが DVD モードの場合、リモコンでの操作はできません。

- 1 SOURCE ボタンを押して、ソースをラジオに切り換える  
(「ソースを選ぶ」20 ページ)



ステレオ放送を受信すると表示されます。

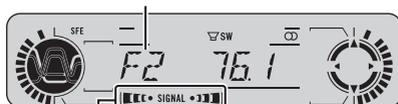
- 2 BAND ボタンを押して、バンドを選ぶ  
ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

F1 F2 A1 A2 F1...

バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。

バンド1とバンド2を切り換えて使うことで、より多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1には普段良く聞く放送局を記憶させておき、旅行先など、どんな放送局があるか分からない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのまま使いになれます。

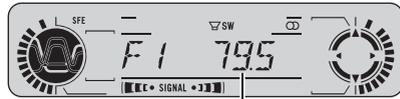
現在選択しているバンドが表示されます。



受信状態を表示します。

### 3 ◀または▶ ボタンを押して、放送局を選局する

- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

#### 選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ) 0.5秒未満

自動選局 0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局を飛ばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

電波の強い放送局を選局するには自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには手動選局をおすすめします。

本機は、あらかじめ放送局名を記憶しています。ディスプレイに表示されている放送局名と受信している放送局名が異なるときは、受信している放送局名に変更することができます(「放送局名選択」86ページ)。

### 4 ラジオの受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにしてください(20、23ページ)。

## プリセットメモリー

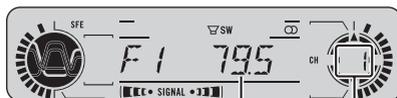
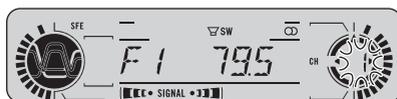
1 ~ 6 のボタンに、お好みの放送局を、1 局ずつ手動で記憶させることができます。

**1** BAND ボタンを押して、記憶させるバンドを選ぶ

**2** ◀または▶ ボタンを押して記憶させたい放送局を選局する

**3** 1 ~ 6 のボタンの1つを2秒以上押して放送局を記憶させる  
押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。

記憶が終わると点滅が終わり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。



周波数表示

受信中の記憶番号

・記憶させた放送局を呼び出すには (「プリセットチューニング」)。

## BSM (ベストステーションズメモリー)

受信状態の良い放送局を探して、自動的に1 ~ 6 のボタンに記憶させることができます。

**1** BAND ボタンを押して、記憶させるバンドを選ぶ

**2** FUNCTION ボタンを押して、BSM モードを選ぶ



### 3 ▲ ボタンを押して、BSMを開始する

記憶が終わると点滅が終わり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

▼ ボタンを押すと途中解除します。



記憶動作中に点滅します。

記憶動作中に1~6 (ch) 表示します。

### 4 BAND ボタンを押して、BSMモードを解除する

- ・受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。
- ・記憶させた放送局を呼び出すには（「プリセットチューニング」）。
- ・BSMモードは、約30秒間何も操作しないと、自動的に解除されます。

## プリセットチューニング

「プリセットメモリー」や「BSM (ベスト ステーションズ メモリー)」で記憶させた放送局を簡単に呼び出すことができます。

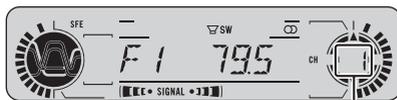
### 記憶させた放送局を順番に呼び出すとき

#### 1 BAND ボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ

#### 2 ▲または▼ ボタンを押して、記憶させた放送局を呼び出す

▲ : 次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼ : 前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号

### 記憶させた放送局を直接呼び出すとき

#### 1 BAND ボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ

#### 2 1~6のボタンを押して、記憶させた放送局を呼び出す



受信中の記憶番号

## 放送局名表示

受信周波数以外に、放送局名選択で選んだ放送局名などを表示させることができます。

- 1 DISPLAY ボタンを押して、表示を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

周波数表示 放送局名表示  
周波数表示に戻る



周波数表示

## 放送局名選択

受信している放送局に合わせて、表示する放送局名を選ぶことができます。

### 放送局名について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は違うことがあります。(例：FM 80.0 MHz を使用している放送局は「TOKYO FM」「FM 愛媛」「FM 福岡」など複数あります。)

本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。ディスプレイに表示されている放送局が受信している放送局と異なるような場合は、放送局名を変更して表示することができます。

- 1 BAND ボタンを押して、バンドを選ぶ
- 2 ◀または▶ ボタンを押して変更したい放送局を選局する

- 3 実際の放送局名と表示が異なる場合、FUNCTION ボタンを2秒以上押して、放送局名選択モードにする

現在受信している周波数以外の放送局名を変更することはできません。別の周波数の放送局名を変更したい場合、その周波数を受信して(83ページ)から放送局名選択モードにしてください。



- 4 ◀または▶ ボタンを押して放送局名を選ぶ
  - ▶ : 次の放送局名を選ぶとき
  - ◀ : 前の放送局名を選ぶとき



受信中の周波数に該当する放送局名を表示します。

## 5 ▲ ボタンを押して放送局名を変更する

選んだ放送局名に変更されます。

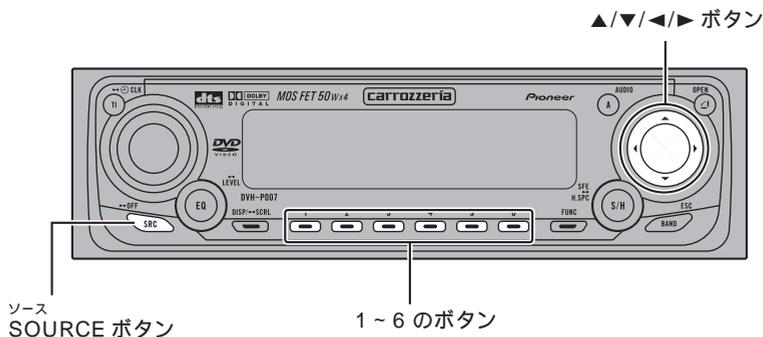


点滅が終わり、放送局名を記憶します。

## 6 BAND ボタンを押して、放送局名選択モードを解除する

- ・選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“NO DATA”と表示されます。
- ・放送局名を表示させたくないときは、“ \_ \_ \_ \_ \_ ” (全て空白) を選んでください。
- ・パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCD (「CDX-P653」など) をお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FM M-CD”に変更して表示することができます。
- ・パイオニア製のTVをFMモジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FMTVSND”に変更して表示することができます。

## マルチCDの操作



## マルチCDの基本操作

## ディスク選択/トラック選択/早送り・早戻し

## リモコンの操作モードがDVHモードの場合

・リモコンの操作モードがDVHモードの場合、本体のボタンに対応したボタンで、マルチCDの操作をすることができます。リモコンの操作モードがDVDモードの場合、リモコンでの操作はできません。

- 1** SOURCE ボタンを押して、ソースをマルチCDに切り換える  
(「ソースを選ぶ」20ページ)

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー(「CDX-P670」など)に「CD TEXT」をセットしているときは、他のソースからマルチCDに切り換えたときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。



- 2** ▲または▼ボタンを押して聞きたいCDを選ぶ

- ▲ : 次のCDを選ぶとき
- ▼ : 前のCDを選ぶとき

1~6ボタンを押して、聞きたいCDを選ぶこともできます。7~12枚目のCDを選ぶ場合は、1~6のボタンを2秒以上押します。



CD番号

**3** ◀または▶ ボタンを押して、再生したいトラックを選ぶ (または早送り/早戻し)

▶ : 次のトラックを選ぶとき (または早送り)

◀ : 前のトラックを選ぶとき (または早戻し)



再生経過時間 曲番号

#### トラック選択と早送り/早戻しの使い分け

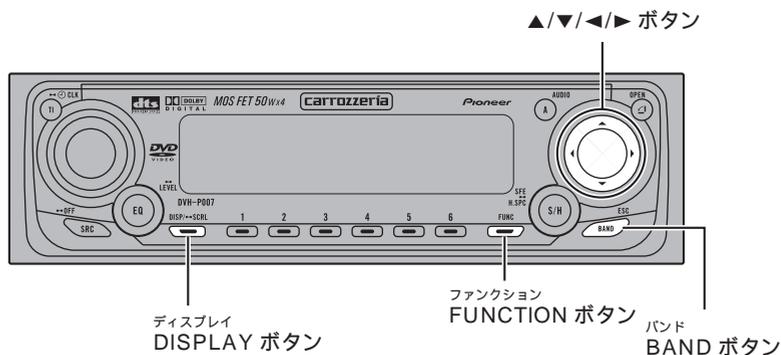
トラックの選択 0.5 秒未満

早送り/早戻し 0.5 秒以上

## 4 マルチ CD の再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源 OFF にしてください (20、23 ページ)。

- ・マルチ CD が準備動作 (CD の有無の確認や CD の情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチ CD に切り換えると“READY”が表示されます。
- ・マルチ CD 再生中にマルチ CD からマガジンを取り出すと、“NO MAG”が表示されます。



## ファンクションモード・詳細設定モードの操作

### ファンクションモードの切り換え

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

#### 1 FUNCTION ボタンを押して、ファンクションモードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



- RPT (リピート再生) (92 ページ)    LIST (タイトルリスト) (101 ページ)
- RDM (ランダム再生) (93 ページ)    SCAN (スキャン再生) (94 ページ)
- ITS-P (ITS 再生) (96 ページ)    PAUSE (ポーズ) (102 ページ)
- COMP (COMP 切り換え) (103 ページ)    RPTに戻る

- ・ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

## 詳細設定モードの切り換え

聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する「ITS 機能」や、CD のタイトルを表示させるために、あらかじめタイトルを入力しておく「タイトル入力機能」などを使うときは、詳細設定モードを切り換えて操作します。

- 1 FUNCTION ボタンを 2 秒以上押し、  
詳細設定モードに切り換える



- 2 FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

TITLE IN (タイトル入力) (98 ページ)   ITS (ITS 入力) (95 ページ)   TITLE IN に戻る

- ・ 詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。
- ・ 「CD TEXT」に対応しているマルチ CD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)

## リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

### 再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
ディスクリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。 (通常はこのモードにしておきます。)
トラックリピート	再生中のトラックを繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、リピートモードを選ぶ



- 2** ◀または▶ ボタンを押して再生範囲を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

MCD (マルチCDリピート)    TRK (トラックリピート)    DSC (ディスクリピート)  
MCDに戻る

- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



トラックリピート中に表示されます。

## ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

### 1 リピートモードにして、再生範囲を選ぶ

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

### 2 FUNCTION ボタンを押して、ランダムモードを選ぶ



### 3 ▲ボタンを押して、ランダム再生をONにする

次の曲から、ランダムに再生されます。

▼ボタンでOFFになります。



### 4 BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

表示と再生範囲の関係は、次のようになっています。



表示	再生範囲
DRDM	ディスクリピート
RDM	マルチCDリピート

- ・トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生がディスクリピートに切り換わり、ランダム再生します。

## スキャン再生

今聞いているCDの曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、全てのCDの1曲目の部分だけを次々に聞くこともできます。

### 1 リピートモードにして、再生範囲を選ぶ (92ページ)

選んだ再生範囲内でスキャン再生が行われます。

聞きたい曲をさがすとき

(トラックスキャン再生)

◀または▶ボタンを押して、  
ディスクリピートにする

再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生  
することができます。

聞きたいCDをさがすとき

(ディスクスキャン再生)

◀または▶ボタンを押して、  
マルチCDリピートにする

マルチCDのマガジン内すべてのCDの1曲  
目だけを、約10秒ずつ再生することができ  
ます。

### 2 FUNCTIONボタンを押して、スキャン モードを選ぶ



### 3 ▲ボタンを押してスキャン再生をONにする 曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的  
にファンクションモードが解除されます。

表示と再生範囲の関係は、次のようになってい  
ます。



表示	再生範囲
DSCN	ディスクリピート
SCAN	マルチCDリピート

- 4** 聞きたい曲 (CD) が再生されたら、スキャンモードにしてから、▼ボタンを押して、スキャン再生をOFFにする



ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

- 5** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

・スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻るとスキャン再生は解除されます。

## ITS入力

記憶させた曲だけ再生する (「ITS再生」96ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。

### ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラック セレクション) の略です。ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (「ITS再生」96ページ) 機能です。

- ・曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。
- ・CD1枚につき99曲まで記憶することができます。(CDX-P1250、CDX-P650以前に発売されたマルチCDでは記憶できる曲が24曲までになります。)
- ・ITSは、タイトル (「タイトル入力」98ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。
- ・100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

- 1** ▲または▼ボタンを押して、記憶させたいCDを再生する

- 2** FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して、ITS入力モードを選ぶ



- 3** ◀または▶ボタンを押して、記憶させたい曲を選ぶ

**4** ▲ ボタンを押して、記憶させる



約 2 秒間表示され、記憶したことを知らせます。

**5** BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除する

## ITS 再生

ITS 入力 (95 ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

**1** リピートモードにして、再生範囲を選ぶ (92 ページ)

選んだ再生範囲内で ITS 再生が行われます。

**2** FUNCTION ボタンを押して、ITS 再生モードにする



**3** ▲ ボタンを押して、ITS 再生を ON にする  
ITS 再生がはじまり、記憶させた曲だけが再生されます。

▼ ボタンで OFF になります。



**4** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する

・手順 1 で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“EMPTY” が約 2 秒間表示されて、ITS 再生は行われません。

## ITS 消去 (1 曲ごと)

記憶させた曲を 1 曲ずつ消すことができます。

**1** ITS 再生を ON にする

**2** ◀または▶ ボタンを押して、消去したい曲を再生する (89 ページ)

- 3** FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して、ITS入力モードを選ぶ



- 4** ▼ ボタンを押して、消去する  
再生していた曲が消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

- 5** BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除する

・現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

## ITS 消去 (CD ごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

- 1** ITS再生をOFFにする
- 2** ▲または▼ボタンを押して、消去したいCDを選ぶ(88ページ)
- 3** FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して、ITS入力モードを選ぶ



- 4** ▼ ボタンを押して、消去する



約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

- 5** BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除する

## タイトル入力

CDのタイトルを入力することができます。また、入力したタイトルは、ディスプレイに表示させることができます。

### タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト(「タイトルリスト」101ページ)で聞きたいCDをさがすこともできます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD(「CDX-P670」など)では、「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルで同様にタイトルリスト(「タイトルリスト」101ページ)をすることができます。

- ・タイトルは8文字まで入力できます。
- ・記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。
- ・タイトルは、ITS(「ITS入力」95ページ)と合わせてCD100枚分の記憶ができます。
- ・100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。
- ・「CD TEXT」に対応しているマルチCD(「CDX-P670」など)で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)

**1** ▲または▼ボタンを押して、タイトルを入力したいCDを再生する(88ページ)

**2** FUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して、タイトル入力モードを選ぶ



**3** ▲/▼/◀/▶ボタンを押して、タイトルを入力する

入力する位置を選ぶとき

- ◀ : 左に移動させるとき
- ▶ : 右に移動させるとき

入力する位置でカーソルが点滅します。8文字まで入力することができます。



入力する文字を選ぶとき

- ▲ : 次の文字を選ぶとき
- ▼ : 前の文字を選ぶとき

選んだ文字が点滅します。

文字は空白( )、アルファベット(A~Z)、記号(\*、+、-、/など)、数字(0~9)の中から選ぶことができます。



- 4** 入力が終わったら、8文字目を点滅させる  
余ったところを空白にして、8文字目を点滅させます。



- 5** ▶ ボタンを押して、入力したタイトルを記憶させる  
入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。



- 6** BAND ボタンを押して、タイトル入力モードを解除する

・タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) に BAND ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

## ディスクタイトル表示

タイトル入力で入力したCDのタイトルを表示させることができます。

- 1** DISPLAY ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示  
ディスクタイトル (DISC TTL)  
再生経過時間表示に戻る



## タイトル表示 (「CD TEXT」)

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているとき、ディスクタイトル (ディスク名)、ディスクアーティストネーム (歌手名) などを表示させることができます。一度に8文字まで表示することができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

### 「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークの付いているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)

本機の「CD TEXT」文字表示は、英数字のみに対応しています。



- ・表示を DISC TTL (ディスク名)、TRK TTL (タイトル名) などに切り換えたときに、自動的に1回スクロール表示します。

### 表示切り換え

- 1 DISPLAY ボタンを押して、表示を切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



- 再生経過時間表示    ディスクタイトル (DISC TTL)
- ディスクアーティストネーム (ART NAME)
- トラックタイトル (TRK TTL)    トラックアーティストネーム (ART NAME)
- 再生経過時間表示に戻る

- ・トラックアーティストネーム (ART NAME) などが収録されていないCDで表示を切り換えると、“NO NAME”などが表示されます。

### 隠れている文字を表示する

- 1 DISPLAY ボタンを2秒以上押して、隠れているタイトルを表示する

隠れている文字が順に表示されます。



隠れている文字が順に表示されていきます。

## タイトルリスト

CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

- 1** FUNCTION ボタンを押して、タイトルリストモードにする



- 2** ◀または▶ ボタンを押して、聞きたいCDを選ぶ

- ▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき
  - ◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき
- 記憶されているタイトルが表示されます。また、そのCDのCD番号が点滅します。



- 3** ▲ボタンを押して、選んだCDを再生する  
選んだCDが再生されます。



- 4** BAND ボタンを押して、タイトルリストモードを解除する

- ・タイトルが入力されていないCDでタイトルリストを行うと、CD番号だけが表示されます。(タイトルは何も表示されません。)

## ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

### 本体での操作

- 1** FUNCTION ボタンを押して、ポーズモードにする



- 2** ▲ ボタンを押して、ポーズを ON にする  
CD再生が一時停止します。  
▼ ボタンで OFF になります。



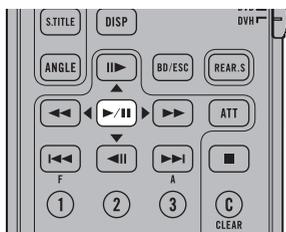
- 3** BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除する



一時停止中に表示されます。

### リモコンでの操作

- 1** 再生中に再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押す  
通常の再生に戻るには、再生/一時停止 (▶/||) ボタンを押します。



## CDの音質を調整する

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。(COMP/DBEに対応しているマルチCD(「CDX-P620S」など)の機能です。)

### COMPについて

COMPとは、Compression(コンプレッション)の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

### DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis(ダイナミック バス エンファシス)の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

#### 1 FUNCTION ボタンを押して、COMP 切り換えモードにする

COMP/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、「NO COMP」が表示されて、操作できません。



#### 2 ▲または▼ボタンを押して、機能を選ぶ ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

COMP OFF    COMP 1 (コンプレッション 1)  
COMP 2 (コンプレッション 2)    COMP  
OFF    DBE 1    DBE 2    最初のCOMP  
OFFに戻る

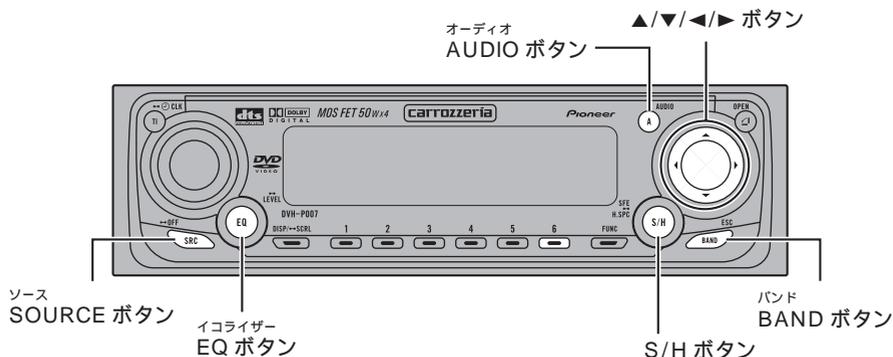


現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

#### 3 BAND ボタンを押して、ファンクション モードを解除する

- ・COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。

## 音の調節 1



## 本機に「DEQ-P7」を接続している場合

- ・本機に、別売の5.1ch対応・DSPユニット（「DEQ-P7」）を接続している場合は、「音の調節 1」の機能は使用できません。この場合は、「音の調節 2（120ページ）」を参照してください。

## お好みの音の空間に設定する

SFE

ボーカルや楽器などの音像を明確にし、自然で心地よい音の空間を手軽に演出することができます。さらに乗車位置を選択することで、よりお好みにあった設定にすることができます。

## SFEについて

FRT1は、フロント出力の高音域と、リア出力の低音域を押し上げます。

FRT2は、フロント出力の高音域・低音域と、リア出力の低音域を押し上げます。（低音域の押し上げは、フロント/リア共通です。）

## 1 S/Hボタンを2秒以上押し、SFEモードに切り換える

ボタンを2秒以上押しすごとに、SFEモードとハーモニクスパイスモードが切り換わります。



## 2 S/Hボタンを押して、SFEモードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



SFE が ON のときに下線が点灯します。

FRT1-H FRT1-L FRT2-H FRT2-L CUSTOM SFE OFF  
FRT1-Hに戻る

## 3 ◀または▶ ボタンを押して、乗車位置を選ぶ

▶ : 右に移動させるとき

◀ : 左に移動させるとき



L (左)、C (中央)、R (右) の中から選ぶことができます。

- SFEとはSound Focus Enhancer (サウンドフォーカスエンハンサー)の略です。
- FRT1、FRT2ともに、“L”より“H”の方が効果が大きくなります。
- “CUSTOM”には、低音、高音(111ページ)をお好みに合わせて調節したSFEモードが記憶されます。
- SFEモードを切り換えると、ハイパスフィルターは自動的にOFFになります。SFEモードとハイパスフィルターを組み合わせ設定するときは、SFEモードを切り換えてから、ハイパスフィルターを設定してください。

# イコライザーカーブを補正する

## ハーモニックスパイス

ハーモニックスパイスは、イコライザーカーブごとに補正することができます。また、“CUSTOM”カーブを選んでいる場合、ソースごとに“CUSTOM”カーブの低音と高音を調節することができます。

## 1 S/Hボタンを2秒以上押して、ハーモニックスパイスモードに切り換える

ボタンを2秒以上押すごとに、SFEモードとハーモニックスパイスモードが切り換わります。



## 2 S/Hボタンを押して、ハーモニックスパイスをONにする

ハーモニックスパイスがONになります。

もう一度押すと、OFFになります。



ハーモニックスパイスがONのときに下線が点灯します。

## イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中から好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

### EQ FLAT について

イコライザーによる音の補正はされていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えることで、設定したイコライザーカーブの効果を確認することができます。

### CUSTOM について

“CUSTOM”には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されます。イコライザーカーブを調節すると、“CUSTOM”に記憶されます。

#### 1 EQ ボタンを押して、イコライザーカーブを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



POWERFUL NATURAL VOCAL CUSTOM EQ FLAT  
SPR-BASS (SUPER-BASS) POWERFULに戻る

## モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

### オーディオ調節モードの切り換え

#### 1 AUDIO ボタンを押して、オーディオ調節モードを切り換える

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。



音量バランス調節モード (108ページ) イコライザー調節モード (109ページ)  
低音・高音レベル調節モード (111ページ) <sup>1</sup> ラウドネスモード (114ページ)  
サブウーファーモード (114ページ) <sup>2</sup>/ノンフェーディングモード (116ページ) <sup>3</sup>  
サブウーファー調節モード (114ページ) <sup>2</sup>/ノンフェーディング調節モード (116ページ) <sup>3</sup>  
ハイパスフィルターモード (117ページ) SLAモード (118ページ) <sup>4</sup>  
音量バランス調節モードに戻る

- オーディオ調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)
- 1 ハーモニクスパイスモードを選んでいる場合、ハーモニクスパイスが ON で “CUSTOM” カーブを選んでいるときだけ低音・高音レベル調節モードに切り換わります。
- 2 サブウーファーモードは、サブウーファーコントロールの設定を “P/O:FUL” 以外にしているときに切り換わります。また、サブウーファーモードを ON にしているときだけ、サブウーファー調節モードに切り換わります。
- 3 ノンフェーディングモードは、サブウーファーコントロールの設定を “P/O:FUL” にしているときだけ切り換わります。また、ノンフェーディングモードを ON にしているときだけ、ノンフェーディング調節モードに切り換わります。
- 4 ラジオの FM を聞いているときは、SLA モードには切り換わりません。

## オーディオ詳細設定モードの切り換え

- 1** AUDIO ボタンを 2 秒以上押して、オーディオ詳細設定モードにする  
オーディオ詳細設定モードに切り換わります。



- 2** AUDIO ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを切り換える

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

- EQ ローバンド調節モード (110 ページ)   EQ ミッドバンド調節モード (110 ページ)  
EQ ハイバンド調節モード (110 ページ)   低音周波数選択モード (112 ページ) <sup>1</sup>  
高音周波数選択モード (113 ページ) <sup>1</sup>   EQ ローバンド調節モードに戻る

- オーディオ詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)
- 1 ハーモニクスパイスモードを選んでいる場合、ハーモニクスパイスが ON で “CUSTOM” カーブを選んでいるときだけ低音周波数選択モードと高音周波数選択モードに切り換わります。

# 前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー/バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、音量バランス調節モードを選ぶ



- 2** ▲または▼ボタンを押して、前後の音量バランスを調節する

- ▲ : 前を強めるとき
- ▼ : 後ろを強めるとき



前後のバランスはF15～R15の範囲で調節できます。

- 3** ◀または▶ボタンを押して、左右の音量バランスを調節する

- ▶ : 右を強めるとき
- ◀ : 左を強めるとき



左右のバランスはL9～R9の範囲で調節できます。

- 4** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ リア出力の設定 (154 ページ) を “R-SP :S/W” にしたときは、前後の音量バランスを調節することはできません。

# お好みに合わせてイコライザーカーブを調節する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを調節することで、お好みの音質をつくることができます。

**1** EQ ボタンを押して、調節したいイコライザーカーブを選ぶ (106 ページ)

**2** AUDIO ボタンを押して、イコライザー調節モードを選ぶ



**3** 調節したいバンドを選んでレベルを調節する

バンドを選ぶ

◀または▶ ボタンを押して、調節したいバンドを選ぶ



L (低音)、M (中音)、H (高音) の中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押して、レベルを調節する

▲ : 強めるとき

▼ : 弱めるとき



イコライザーカーブ - 6 ~ + 6 の範囲で調節すると点灯し調節できます。

**4** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ イコライザーカーブを調節すると、“CUSTOM” に記憶されます。
- ・ 交通情報 (159 ページ) を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

# イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザーカーブには3つのバンドがあり、バンドごとに中心周波数とQファクターを調節することができます。

**1** EQボタンを押して、調節したいイコライザーカーブを選ぶ(106ページ)

**2** AUDIOボタンを2秒以上押して、オーディオ詳細設定モードにする



**3** バンドを選んで中心周波数とQファクターを調節する

バンドを選ぶ

AUDIOボタンを押して、調節したいバンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のようにオーディオ詳細設定モードが切り換わります。

EQローバンド調節モード    EQミッドバンド調節モード  
 低音周波数選択モード  
 高音周波数選択モード  
 EQローバンド調節モードに戻る



表示 (中心周波数[Hz])	選ばれているバンド
40、80、100、160のいずれか	EQローバンド
200、500、1k、2kのいずれか	EQミッドバンド
3k、8k、10k、12kのいずれか	EQハイバンド

中心周波数を選ぶ

◀または▶ボタンを押して、中心周波数を選ぶ



選んだ周波数が表示されます。

## Qファクターを選ぶ

▲または▼ボタンを押して、選んだバンドのQファクター（イコライザーカーブの傾き）を選ぶ

▲：強めるとき

▼：弱めるとき

Qファクター（イコライザーカーブの傾き）は、2Nが最も急な傾きになり、1N、1W、2Wの順で傾きが緩やかになります。



2N、1N、1W、2Wの中から選ぶことができます。

## 4 BAND ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを解除する

- ・ イコライザーカーブを調節すると、“CUSTOM” に記憶されます。
- ・ 交通情報（159 ページ）を受信しているときは、オーディオ詳細設定モードを操作することはできません。

## 低音と高音を調節する

バス/トレブル

低音・高音のカットオフ周波数とレベルを調節することができます。

- ・ ハーモニクスパイスモード（105 ページ）を選んでいる場合、ハーモニクスパイスがONで“CUSTOM”カーブを選んでいるときだけ、低音・高音の調節を行うことができます。
- ・ SFE（104 ページ）がFRT1の場合、低音調節はリア出力だけに効果があります。
- ・ SFE（104 ページ）がFRT1またはFRT2の場合、高音調節はフロント出力だけに効果があります。

## 低音・高音レベルの調節

### 1 AUDIO ボタンを押して、低音・高音レベル調節モードを選ぶ



次ページへつづく

**2** バンドを選んでレベルを調節する

バンドを選ぶ

◀または▶ ボタンを押して、バンドを選ぶ

▶ : 高音を選ぶとき

◀ : 低音を選ぶとき



レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押して、レベルを調節する

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

**3** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ハーモニクスパイスモード(105ページ)を選んでいる場合、ハーモニクスパイスがONで“CUSTOM”カーブを選んでいるときだけ、低音・高音レベル調節モードに切り換わります。
- ・SFE(104ページ)がFRT1の場合、フロント出力の低音を調節することはできません。
- ・SFE(104ページ)がFRT1またはFRT2の場合、リア出力の高音を調節することはできません。

## 調節する低音周波数の選択

**1** AUDIO ボタンを2秒以上押してから AUDIO ボタンを押して、低音周波数選択モードを選ぶ



## 2 ◀または▶ ボタンを押して、周波数を選ぶ

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



周波数は、40、63、100、160 (Hz) の中から選ぶことができます。

## 3 BAND ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを解除する

- ・ ハーモックスパイスモード (105 ページ) を選んでいる場合、ハーモックスパイスがONで“CUSTOM”カーブを選んでいるときだけ、低音周波数選択モードに切り換わります。

## 調節する高音周波数の選択

### 1 AUDIO ボタンを 2 秒以上押してから AUDIO ボタンを押して、高音周波数選択モードを選ぶ



### 2 ◀または▶ ボタンを押して、周波数を選ぶ

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



周波数は、2k、4k、6k、10k (Hz) の中から選ぶことができます。

### 3 BAND ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを解除する

- ・ ハーモックスパイスモード (105 ページ) を選んでいる場合、ハーモックスパイスがONで“CUSTOM”カーブを選んでいるときだけ、高音周波数選択モードに切り換わります。

## 小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、ラウドネスモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、ラウドネスを ON にする

▼ ボタンで OFF になります。



ラウドネスが ON のときに点灯します。

- 3** ◀ または ▶ ボタンを押して、ラウドネスの効果を選ぶ

▶ : 効果を大きくするとき

◀ : 効果を小さくするとき



LOW (弱)、MID (中)、HI (強) の中から選ぶことができます。

- 4** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

## サブウーファーを使う

サブウーファー

本機では、リアスピーカー端子または、RCA 出力端子に接続したサブウーファーの調節を行うことができます。(この機能は初期設定で ON になっています。)

### 位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転(干渉)すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相(フロント/リアスピーカーと同時に出力される)が良いか、逆相(フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される)が良いかを選んで設定してください。

## カットオフ周波数について

50、80、125 (Hz) から選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、サブウーファーモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、サブウーファーを ON にする

▼ ボタンで OFF になります。



サブウーファーが ON のときに点灯します。

- 3** ◀ または ▶ ボタンを押して、位相を切り換える

▶ : NOR (正相) を選ぶとき

◀ : REV (逆相) を選ぶとき



- 4** AUDIO ボタンを押して、サブウーファー調節モードを選ぶ



- 5** カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押して、周波数を選ぶ

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



周波数は、50、80、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押して、レベルを調節する

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

次ページへつづく

## 6 BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ サブウーファーコントロールを“P/O :FUL”にしたときは、サブウーファーモードには切り換わりません。(155 ページ)
- ・ サブウーファーをOFFにしたときは、サブウーファー調節モードには切り換わりません。

## 外部アンプなどでサブウーファーを調節する

ノンフェーディング

本機のローパスフィルターを通さずに、原音のまま RCA 出力から音声信号を出力することができ、さらにその出力レベルを調節することができます。(この機能は初期設定でONになっています。)

### 1 AUDIO ボタンを押して、ノンフェーディングモードを選ぶ



### 2 ▲ ボタンを押して、ノンフェーディングをONにする

▼ ボタンでOFFになります。



### 3 AUDIO ボタンを押して、ノンフェーディング調節モードを選ぶ



### 4 ▲ または ▼ ボタンを押して、レベルを調節する

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき



レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

### 5 BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ サブウーファーコントロールを“P/O :FUL”にしたときだけ、ノンフェーディングモードに切り換わります。(155 ページ)
- ・ ノンフェーディングをOFFにしたときは、ノンフェーディング調節モードには切り換わりません。

# 低い音をスピーカーから出力させないようにする

## ハイパスフィルター (HPF)

ハイパスフィルターをONにすると、選んだ周波数より低い周波数の音が各スピーカーから出力されなくなります。

### ハイパスフィルター (HPF) について

ハイパスフィルターは、設定した周波数から下の音域 (低域) をカットして、高域を通すフィルターです。ハイパスフィルターをONにすることにより、サブウーファーとの音のつながりを調節することができます。

### カットオフ周波数について

50、80、125 (Hz) から選んだ周波数より高い周波数の音域が各スピーカーから出力されます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、ハイパスフィルターモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、ハイパスフィルターをONにする

▼ ボタンでOFFになります。



- 3** ◀または▶ ボタンを押して、カットオフ周波数を選ぶ

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき

選んだ周波数より高い周波数の音だけが、各スピーカーから出力されます。



50、80、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

- 4** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ SFE モードを切り換えると、ハイパスフィルターは自動的にOFFになります。SFE モードとハイパスフィルターを組み合わせる設定するときは、SFE モードを切り換えてから、ハイパスフィルターを設定してください。

# 各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

**1** SOURCE ボタンを押して、FMを受信し、FMの音量を確かめる (82 ページ)

**2** SOURCE ボタンを押して、調節したいソースに切り換える (20 ページ)

**3** AUDIO ボタンを押して、SLA モードを選ぶ



**4** ▲ または ▼ ボタンを押して、レベルを調節する

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき

レベルは - 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。



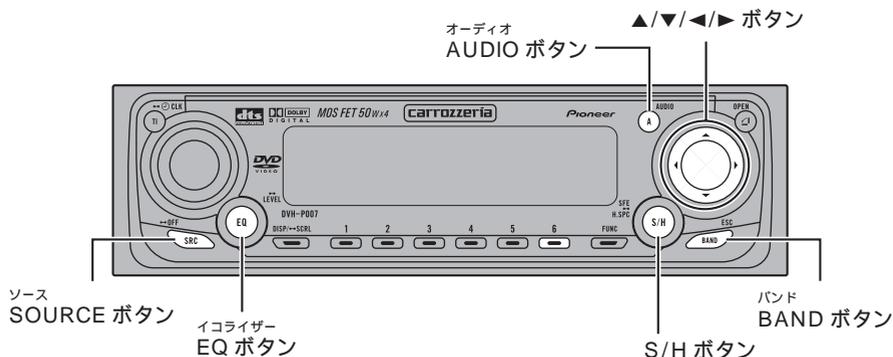
レベルは - 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

**5** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ SLA とは Source Level Adjuster (ソース レベル アジャスター) の略です。
- ・ FM の音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FM を聞いているときは、SLA モードに切り換えることはできません。
- ・ AM、テレビ、DVD、CD、External (エクスターナルユニット)、AUX (外部機器) のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、DVD と別売の DVD プレーヤー、ビデオ CD・CD と MP3、External1 と External2、および AM と交通情報 (159 ページ) は同じ設定になります。



## 音の調節 2



## 本機に「DEQ-P7」を接続している場合

・本機に、別売の5.1ch対応・DSPユニット（「DEQ-P7」）を接続している場合は、「音の調節 2」の機能を使用することができます。（「音の調節 1（104ページ）」の機能は使用することができません。）

## オーディオ調節のポイント

次の順に設定や調節することで、きめ細かく好みの音場を創り出すことができます。

1. 接続したスピーカーの設定をする (129ページ)
2. リスニングポジションを選ぶ (123ページ)
3. タイムアライメントを調節する (134ページ)
4. テストトーンでスピーカーレベルを調節する (133ページ)
5. カットオフ周波数を設定する (131ページ)
6. スピーカーレベルを調節する (132ページ)
7. 3バンドパラメトリックイコライザーを調節する (136ページ)

## モードの切り換えかた

音の調節は、オーディオ調節モードとオーディオ詳細設定モードを切り換えて操作します。

## オーディオ調節モードの切り換え

### 1 AUDIO ボタンを押して、オーディオ調節モードを切り換える

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。



リスニングポジションモード (123 ページ) 音量バランス調節モード (124 ページ)  
SLA モード (125 ページ) <sup>1</sup> ダイナミックレンジコントロールモード (126 ページ) <sup>2</sup>  
デュアルモノモード (126 ページ) <sup>2</sup> ダイレクトモード (127 ページ)  
ドルビープロロジックモード (128 ページ) リスニングポジションモードに戻る

・オーディオ調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

<sup>1</sup> ラジオの FM を聞いているときは、SLA モードには切り換わりません。

<sup>2</sup> DVD ディスクを再生しているとき以外は、ダイナミックレンジモードやデュアルモノモードには切り換わりません。

## オーディオ詳細設定モードの切り換え

### 1 AUDIO ボタンを 2 秒以上押して、オーディオ詳細設定モードにする

オーディオ詳細設定モードに切り換わります。



### 2 AUDIO ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを切り換える

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

スピーカー設定モード (129 ページ) カットオフ周波数モード (131 ページ)  
スピーカーレベル調節モード (132 ページ) テストトーンモード (133 ページ)  
タイムアライメント調節モード (134 ページ) <sup>1</sup>  
イコライザー調節モード (136 ページ) <sup>2</sup> スピーカー設定モードに戻る

・オーディオ詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

<sup>1</sup> リスニングポジションモードで F/R か F/L を選んでいないと、タイムアライメント調節モードには切り換わりません。

<sup>2</sup> “CUSTOM1” または “CUSTOM2” 以外のイコライザーカーブを選んでいる場合、イコライザー調節モードには切り換わりません。

# SFC で音場を再現する

SFC

SFC では、実際にその演奏会場にいるかのようなリアルな音場を再現することができます。

## SFC (Sound Field Control) について

演奏会場は、会場ごとに独特の雰囲気があります。これは、会場の広さや形状、残響特性が異なるため、直接音・初期反射音・残響音の長さや質が変化するためです。SFC には、このようなことを考慮した音場空間プログラムが設定されています。

### 1 S/H ボタンを押して、SFC モードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



MUSICAL DRAMA ACTION JAZZ HALL CLUB OFF  
MUSICAL に戻る

#### MUSICAL

音楽ソフトやミュージカル系の映画の再生を楽しむのに適しています。

#### DRAMA

リアスピーカーの音と一体となって、1つの大きなスピーカーのように響くイメージで幅広いサラウンド感を再現します。また、直接音もしっかりと響き、ストーリー重視の映画を楽しむのに適しています。

#### ACTION

躍動感、スピード感に加え、爆発シーンの迫力を包み込むように再現します。アクションシーンの多い映画を楽しむのに適しています。

#### JAZZ

ジャズクラブでの音場を再現します。ライブ録音の音声などを楽しむのに適しています。

#### HALL

コンサートホールの音場を再現します。残響音豊かな響きでクラシック音楽などを楽しむのに適しています。

#### CLUB

ディスコの音場を再現します。残響音が吸収されやすい音場を再現し、ビートの効いた音楽を楽しむのに適しています。

- ・ 2チャンネルのリニアPCMまたは2チャンネルのドルビーデジタルの音声で、5.1チャンネルに適したSFC (MUSICAL、DRAMA、ACTION) を選んだ場合、ドルビープロロジックをONにすることをおすすめします。また、2チャンネルに適したSFC (JAZZ、HALL、CLUB) を選んだ場合、ドルビープロロジックをOFFにすることをおすすめします。

# リスニングポジションを選ぶ

乗車位置や人数に合わせて、リスニングポジション（聞く位置）を選ぶことで、音像の定位を適切に補正することができます。

## リスニングポジションについて

リスニングポジションは、座席位置や人数に合わせて、自動的に各スピーカーから出る音の遅延時間とレベルを調節する機能です。SFCと組み合わせることで、全身を包むような豊かな音場を体感することができます。

- 1 AUDIO ボタンを押して、リスニングポジションモードを選ぶ



- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、リスニングポジションを選ぶ

- ▶ : 右ハンドル車に運転者のみがいるとき
- ◀ : 左ハンドル車に運転者のみがいるとき
- ▲ : 同乗者が助手席にいるとき
- ▼ : 同乗者が後部座席にいるとき

同じボタンを押すごとに、ON/OFF が切り換わります。

- 3 BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する



- ・ タイムアライメント (134 ページ) を調節するには、リスニングポジションを F/R か F/L のいずれかに設定してください。

# 前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー/バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、音量バランス調節モードを選ぶ



- 2** ▲または▼ボタンを押して、前後の音量バランスを調節する

▲：前を強めるとき

▼：後ろを強めるとき

前後のバランスは、F25 ~ R25 の範囲で調節できます。



前後のバランスはF25 ~ R25 の範囲で調節できます。

- 3** ◀または▶ボタンを押して、左右の音量バランスを調節する

▶：右を強めるとき

◀：左を強めるとき

左右のバランスは、L25 ~ R25 の範囲で調節できます。



左右のバランスはL25 ~ R25 の範囲で調節できます。

- 4** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

# 各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

- 1 SOURCE ボタンを押して、FMを受信し、FMの音量を確かめる(82ページ)
- 2 SOURCE ボタンを押して、調節したいソースに切り換える(20ページ)
- 3 AUDIO ボタンを押して、SLAモードにする



- 4 ▲または▼ボタンを押して、レベルを調節する

▲：レベルを大きくするとき

▼：レベルを小さくするとき

レベルは - 4 から + 4 の範囲で調節できます。



レベルは - 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

- 5 BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ SLAとはSource Level Adjuster (ソース レベル アジャスター) の略です。
- ・ FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードには切り換わりません。
- ・ AM、テレビ、DVD、CD、External (エクスターナルユニット)、AUX (外部機器) のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、DVDと別売のDVDプレーヤー、ビデオCD・CDとMP3、External1とExternal2、およびAMと交通情報(159ページ)は同じ設定になります。

## ダイナミックレンジコントロールを使う

ダイナミックレンジコントロール (DRC)

ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音との幅のことです。ダイナミックレンジコントロールは、この幅を圧縮することで、音量を下げて楽しむ場合に小さな音も聞きとりやすくすることができます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、ダイナミックレンジコントロールモードを選ぶ



- 2** ▲ ボタンを押して、ダイナミックレンジコントロールをONにする

▼ ボタンでOFFになります。



- 3** BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ダイナミックレンジコントロールの効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。
- ・DVD ディスクを再生しているとき以外、ダイナミックレンジコントロールモードには切り換わりません。

## デュアルモノモードを使う

デュアルモノ

デュアルモノモードで記録されたディスクを再生する場合、出力するデュアルモノチャンネルを選ぶことができます。

- 1** AUDIO ボタンを押して、デュアルモノモードにする



- 2** ◀または▶ ボタンを押して、出力するデュアルモノチャンネルを選ぶ

L + R (左右)、L (左)、R (右) の中から選ぶことができます。



### 3 BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・デュアルモノモードの効果を得られるのは、デュアルモノモード音声だけです。
- ・DVD ディスクを再生しているとき以外、デュアルモノモードには切り換わりません。

## オリジナルの音質で聞く

ダイレクト

各種オーディオの設定を無効にすることができます。調整したオーディオ設定の効果を確かめるのに便利です。

### 1 AUDIO ボタンを押して、ダイレクトモードを選ぶ



### 2 ▲ ボタンを押して、ダイレクトモードを ON にする

▼ ボタンで OFF になります。



### 3 BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ダイレクトが ON の間は、音量調節 (VOLUME と ATT ボタン) のみ有効です。その他のオーディオ調節はできません。
- ・2チャンネルのリニア PCM または 2チャンネルのドルビーデジタルの音声で、ダイレクトモードを ON にすると、フロントスピーカー (左右) 以外から音声は出力されません。

# ドルビープロロジックを使う

ドルビープロロジック

ドルビープロロジックでは、音の定位が鮮明になり、音の移動が自然に再生されるので、より立体的な音場を楽しむことができます。

## ドルビープロロジックのON/OFFについて

2チャンネルのリニアPCM または2チャンネルのドルビーデジタルの音声で、5.1チャンネルに適したSFC (MUSICAL、DRAMA、ACTION)を選んだ場合、ドルビープロロジックをONにすることをおすすめします。また、2チャンネルに適したSFC (JAZZ、HALL、CLUB)を選んだ場合、ドルビープロロジックをOFFにすることをおすすめします。

### 1 AUDIO ボタンを押して、ドルビープロロジックモードを選ぶ



### 2 ▲ ボタンを押して、ドルビープロロジックをONにする

▼ ボタンでOFFになります。



### 3 BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ 2チャンネルのモノラルソースを再生しているときにドルビープロロジックをONにすると、次の様な現象が起こることがあります。
  - \* センタースピーカーを接続していないのに、センタースピーカーの設定を「SML」や「LRG」にしている場合、音が出力されないことがあります。
  - \* センタースピーカーを接続し、センタースピーカーの設定を「SML」や「LRG」にしている場合、センタースピーカーからのみ音が出力されることがあります。

# 接続したスピーカーの設定をする

## 各スピーカーの有無やサイズを設定する

スピーカーの接続の有無や接続したスピーカーのサイズ(低音域再生能力)の設定をすることができます。この設定により、スピーカーを接続していないために再生できないチャンネルの音を他のスピーカーから出力させたり、より再生に適したスピーカーから低音を出力させることができます。

### スピーカーサイズについて

スピーカーサイズ設定は、100 Hz以下の周波数帯域を再生可能かどうかが目安になります。再生可能な場合は、「LRG」に、再生不可能な場合は、「SML」に設定してください。

- 1** AUDIO ボタンを2秒以上押して、スピーカー設定モードを選ぶ



- 2** ◀または▶ ボタンを押して、設定したいスピーカーを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。



FRONT (フロントスピーカー)      CENT (センタースピーカー)  
REAR (リアスピーカー)      SUB.W (サブウーファー)  
PHASE (サブウーファー位相切り換え) <sup>1</sup>

- 3** ▲または▼ ボタンを押して、スピーカーの有無やサイズを設定する

各スピーカーの設定は、次の中から選ぶことができます。



スピーカーの種類	設定
フロント	SML/LRG
リア	OFF/SML/LRG
センター	OFF/SML/LRG
サブウーファー	OFF/ON
サブウーファー 位相切り換え	NOR/REV

- 4** BAND ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを解除する

- ・ 接続していないスピーカーの設定は、必ず「OFF」にしてください。
  - ・ サブウーファーを接続していない場合、フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力がある限り、スピーカー設定は「LRG」を選んでください。フロントとリア両方のスピーカー設定を「SML」にすると、低音が著しく不足した感じになることがあります。
  - ・ 2チャンネルのモノラルソースを再生しているときにドルビープロロジックをONにすると、次の様な現象が起こることがあります。
    - \* センタースピーカーを接続していないのに、センタースピーカーの設定を「SML」や「LRG」にしている場合、音が出力されないことがあります。
    - \* センタースピーカーを接続し、センタースピーカーの設定を「SML」や「LRG」にしている場合、センタースピーカーからのみ音が出力されることがあります。
- <sup>1</sup>サブウーファーをOFFにすると、サブウーファー位相切り換えには切り換わりません。

## サブウーファーの位相を切り換える

サブウーファーからの低音域の出力を調節しても低音域が良く聞こえてこなかったり、逆に小さくなったように感じた場合、他のスピーカーの低音域と打ち消し合っていることがあります。位相を切り換えることで、この現象を防ぎ低音域を聞きやすくすることができます。

- 1** AUDIO ボタンを2秒以上押して、スピーカー設定モードを選ぶ



- 2** ◀または▶ ボタンを押して、サブウーファー位相切り換えを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。



FRONT (フロントスピーカー)    CENT (センタースピーカー)  
 REAR (リアスピーカー)    SUB.W (サブウーファー)  
 PHASE (サブウーファー位相切り換え) <sup>1</sup>

- 3** ▲または▼ ボタンを押して、サブウーファーの位相を切り換える

▲ : NOR (正相)  
 ▼ : REV (逆相)



- 4** BAND ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを解除する

<sup>1</sup>サブウーファーをOFFにすると、サブウーファー位相切り換えには切り換わりません。

# カットオフ周波数を設定する

カットオフ周波数は、サブウーファーやスピーカーサイズを「SML」に設定したスピーカーの再生音域を設定します。サブウーファーからは、選んだ周波数より低い音域が出力されます。また、「SML」に設定したスピーカーからは、選んだ周波数より高い音域が出力され、カットされた低い音域はサブウーファーから出力されるようになります。サブウーファーを接続していない場合、カットされた低い音域は「LRG」に設定したスピーカー（フロントまたはリア）から出力されるようになります。

- 1 AUDIO ボタンを 2 秒以上押してから、AUDIO ボタンを押し、カットオフ周波数モードを選ぶ



- 2 ◀または▶ ボタンを押して、カットオフ周波数を選ぶ

63、80、100、125、160、200 (Hz)の中から選ぶことができます。



- 3 BAND ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを解除する

- ・ サブウーファーのLPFと、スピーカーサイズを「SML」に設定したスピーカーのHPF両方のカットオフ周波数を設定します。サブウーファーが「OFF」で、他のスピーカーのサイズが「LRG」や「OFF」に設定されている場合、カットオフ周波数の設定は無効になります。

## スピーカーレベルを調節する

テストトーンで行った各スピーカーからの出力レベルを、実際の音声を聞きながらもう一度調節することができます。

- 1** AUDIO ボタンを 2 秒以上押してから、AUDIO ボタンを押し、スピーカーレベル調節モードを選ぶ



- 2** ◀または▶ ボタンを押して、調節したいスピーカーを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

FRT-L (フロントスピーカー (左))    CENT (センタースピーカー)  
 FRT-R (フロントスピーカー (右))    RER-R (リアスピーカー (右))  
 RER-L (リアスピーカー (左))    SUB.W (サブウーファー)



- 3** ▲または▼ ボタンを押して、レベルを調節する

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき

レベルは - 10 から + 10 の範囲で調節できます。



- 4** BAND ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを解除する

- ・ このモードで調節した出力レベルは、テストトーンモード (133 ページ) で調節したレベルと同じ値になります。
- ・ スピーカー設定モード (129 ページ) で「OFF」に設定したスピーカーを選ぶことはできません。

# テストトーンでスピーカーレベルを調節する

テストトーン

テストトーンを聞きながら、各スピーカーからの出力レベルを調節し、スピーカーシステム全体のバランスを整えます。

- 1** AUDIO ボタンを 2 秒以上押してから、AUDIO ボタンを押し、テストトーンモードを選ぶ



- 2** ▶ ボタンを押して、テストトーン出力を開始する

約 2 秒ずつ、次の順で切り換わり続けます。



FRT-L (フロントスピーカー (左))    CENT (センタースピーカー)  
FRT-R (フロントスピーカー (右))    RER-R (リアスピーカー (右))  
RER-L (リアスピーカー (左))    SUB.W (サブウーファー)

- 3** ▲または▼ボタンを押して、レベルを調節する

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき

レベルは - 10 から + 10 の範囲で調節できます。



- 4** ◀ ボタンを押して、テストトーン出力を停止する



- 5** BAND ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを解除する

- このモードで調節した出力レベルは、スピーカーレベル調節モード (132 ページ) で調節したレベルと同じ値になります。
- スピーカー設定モード (129 ページ) で「OFF」に設定したスピーカーには切り換わりません。
- レベルを調節している間、テストトーンは次のスピーカーには切り換わりません。

# タイムアライメントを調節する

タイムアライメント

各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節することができます。リスニングポジション(123ページ)を設定することで、自動的に設定されますが、タイムアライメントではさらに厳密な調節をすることができます。

## タイムアライメントを調節するには

リスニングポジションモード(123ページ)でF/LかF/Rを選んでいないと、タイムアライメント調節モードには切り換わりません。

- 1** AUDIO ボタンを2秒以上押してから、AUDIO ボタンを押し、タイムアライメント調節モードを選ぶ



- 2** ◀または▶ ボタンを押して、調節したいスピーカーを選ぶ

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

FL (フロントスピーカー(左))    C (センタースピーカー)  
FR (フロントスピーカー(右))    RR (リアスピーカー(右))  
RL (リアスピーカー(左))    SW (サブウーファー)



- 3** ▲または▼ ボタンを押して、距離を調節する

▲ : 距離を遠くするとき  
▼ : 距離を近くするとき

距離は0.0 cmから500.0 cmの範囲で調節できます。



- 4** BAND ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを解除する

- ・スピーカー設定モード(129ページ)で「OFF」に設定したスピーカーを選ぶことはできません。

# イコライザーカーブを使う

## イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されているイコライザーカーブの中から、好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

### CUSTOM1 について

“CUSTOM1”には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されません。(External1とExternal2は、同じ設定になります。)

### CUSTOM2 について

“CUSTOM2”は、すべてのソースに共通したイコライザーカーブで、お好みに合わせて調節することができます。

### EQ FLAT について

イコライザーによる音の補正はされていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えることで、設定したイコライザーカーブの効果を確認することができます。

## 1 EQ ボタンを押して、イコライザーカーブを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



POWERFUL   NATURAL   VOCAL   EQ FLAT   CUSTOM1   CUSTOM2  
SPR-BASS (SUPER-BASS)   POWERFUL に戻る

## 3 バンドパラメトリックイコライザーを調節する

“CUSTOM1”と“CUSTOM2”は、フロント/リア/センターのイコライザーカーブを別々に調節することができます。各スピーカーのバンドごとに中心周波数を設定し、レベル調節やカーブの傾きの切り換えを行うことができます。

### 3 バンドパラメトリックイコライザーを調節するには

“CUSTOM1”または“CUSTOM2”以外のイコライザーカーブを選んでいる場合、イコライザー調節モードには切り換わりません。

### イコライザーの調節について

センタースピーカーは、音像を定位させるのに影響が大きいスピーカーです。このため、他のスピーカーと同時にバランスをとるのは、とても難しい作業です。全体のバランスをとるため、2チャンネルの音声(CDなど)を再生し、センターを除く全てのスピーカーのバランスを調節した後、5.1チャンネルの音声(ドルビーデジタルやDTS)を再生し、センタースピーカーを全体のバランスに合わせるように調節すると、スムーズに行うことができます。

### 中心周波数について

各バンドの中心周波数は、20種類の周波数の中から選ぶことができます。周波数は、1/3オクターブずつのステップで切り換えることができますが、各バンドの中心周波数の間隔を1オクターブ未満に設定することはできません。

- 1** AUDIO ボタンを2秒以上押してから、AUDIO ボタンを押し、イコライザー調節モードを選ぶ



- 2** ◀または▶ ボタンを押して、調節したい項目を選ぶ

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

スピーカー      バンド      中心周波数      レベル      カーブの傾き



- 3** ▲または▼ ボタンを押して、調節したいスピーカーを選ぶ

FRT (フロント)、CEN (センター)、RER (リア)の中から選ぶことができます。



- 4** ▶ ボタンを押してから、▲または▼ ボタンを押して、バンドを選ぶ

LOW (低音)、MID (中音)、HI (高音)の中から選ぶことができます。



**5** ▶ ボタンを押してから、▲または▼ボタンを押して、中心周波数を選ぶ

▲：高い周波数を選ぶとき

▼：低い周波数を選ぶとき

100、125、160、200、250、315、400、500、630、800、1k、1.2k、1.6k、2k、2.5k、3.1k、4k、5k、6.3k、8k (Hz) の中から選ぶことができます。



**6** ▶ ボタンを押してから、▲または▼ボタンを押して、レベルを調節する

▲：強めるとき

▼：弱めるとき

レベルは-6から+6の範囲で調節できます。



**7** ▶ ボタンを押してから、▲または▼ボタンを押して、カーブの傾きを選ぶ

▲：WID (緩やかな傾き)

▼：NAR (急な傾き)



**8** 手順2～7を繰り返して、各スピーカーの各バンドを同様に調節する

**9** BAND ボタンを押して、オーディオ詳細設定モードを解除する

- スピーカー設定モード (129 ページ) で「OFF」に設定したスピーカーを選ぶことはできません。

## 内蔵プレーヤーの初期設定

## 内蔵プレーヤーの初期設定

音声や字幕、視聴制限など内蔵プレーヤーの設定を変更することができます。

## 初期設定メニューを表示する

## リモコンの操作モードがDVHモードの場合

- ・リモコンの操作モードがDVHモードの場合、内蔵プレーヤーの初期設定を変更することはできません。内蔵DVDプレーヤーの初期設定を変更するときは、リモコンの操作モードをDVDモードに変更してから、操作してください。

- 1** 停止 (■) ボタンを押して、ディスクの再生を停止する

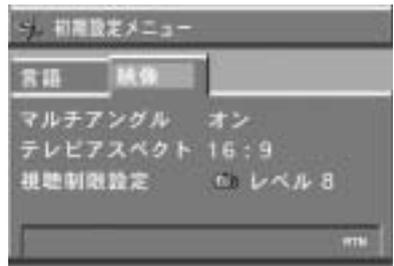
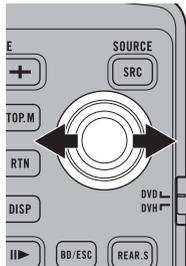


- 2** ディスク再生が停止中にMENUボタンを押して、初期設定メニューを表示する  
初期設定メニュー (言語) が表示されます。



- 3** ジョイスティックを左右に操作して、初期設定メニューを切り換える

ジョイスティックを左右に操作するごとに、次のように切り換わります。  
初期設定メニュー (言語)  
初期設定メニュー (映像)



- ・初期設定画面表示中にMENUまたはRETURNボタンを押すと、初期設定画面が消え、停止状態になります。

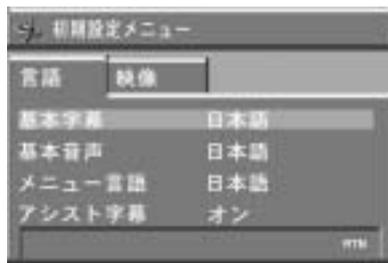
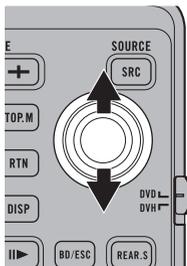
## 一つ前の画面に戻るには

初期設定メニューは、各設定項目ごとに画面が切り換わります。続けて他の項目を設定する場合、RETURNボタンを押すことで1つ前の画面に戻ることができます。(画面右下の「RTN」をジョイスティックで選んで、ジョイスティックを押すことでも、前の画面に戻ることができます。)

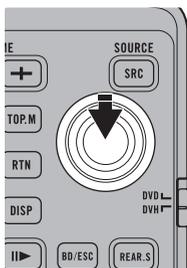
# 基本字幕の設定

字幕として優先したい言語を設定することができます。

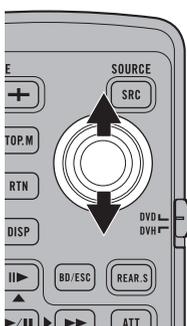
- 1** 初期設定メニュー（言語）で、ジョイスティックを上下に操作して、「基本字幕」を選ぶ  
「基本字幕」が青色で表示されます。



- 2** ジョイスティックを押して、基本字幕設定画面に切り換える  
基本字幕設定画面に切り換わります。



- 3** ジョイスティックを上下に操作して、希望の言語を選ぶ  
現在設定されている言語は枠囲みで表示され、ジョイスティックで選んでいる言語は青色で表示されます。



ジョイスティックを左右に操作すると、画面を切り換えることができます。

- 4** ジョイスティックを押す  
選んだ項目に切り換わります。

次ページへつづく

- ・選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- ・SUBTITLE ボタンで、再生中に字幕の言語を切り換えることもできます (37 ページ)。
- ・SUBTITLE ボタンで字幕の言語を切り換えても、ここでの設定に影響はありません。
- ・RETURN ボタンを押すと、1 つ前の画面に戻ります。

## 「その他」を選んだとき

「その他」を選ぶと、言語のコード入力画面が表示されますので、「言語コード表」(160 ページ) より、4 桁の言語コードを数字ボタンで入力し、ジョイスティックを押してください。CLEAR ボタンを押すと、入力した数字を消すことができます。

# 基本音声の設定

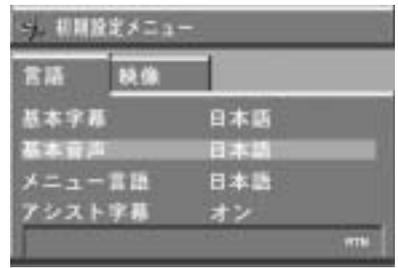
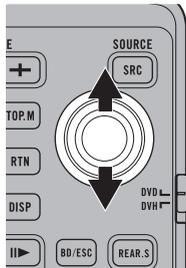
基本音声

音声として優先したい言語を設定することができます。

### 1 初期設定メニュー (言語)

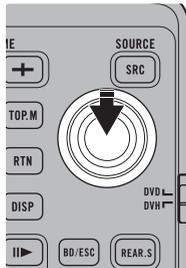
で、ジョイスティックを上下に操作して、「基本音声」を選ぶ

「基本音声」が青色で表示されます。



### 2 ジョイスティックを押して、基本音声設定画面に切り換える

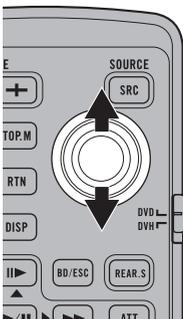
基本音声設定画面に切り換わります。



### 3 ジョイスティックを上下に操作して、希望の言語を選ぶ

現在設定されている言語は枠囲みで表示され、ジョイスティックで選んでいる言語は青色で表示されます。

ジョイスティックを左右に操作すると、画面を切り換えることができます。



### 4 ジョイスティックを押す

選んだ項目に切り換わります。

- ・選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- ・リモコンのAUDIOボタンで、再生中に音声言語を切り換えることもできます(36ページ)。
- ・リモコンのAUDIOボタンで音声言語を切り換えても、ここでの設定に影響はありません。
- ・RETURNボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

### 「その他」を選んだとき

「その他」を選ぶと、言語のコード入力画面が表示されますので、「言語コード表」(160ページ)より、4桁の言語コードを数字ボタンで入力し、ジョイスティックを押してください。CLEARボタンを押すと、入力した数字を消すことができます。

## メニュー言語の設定

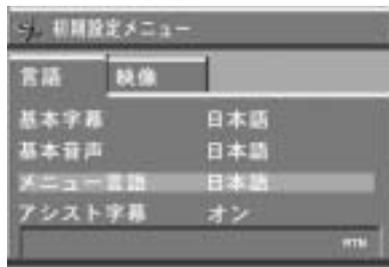
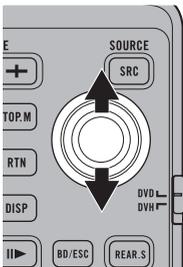
### メニュー言語

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語として優先したい言語を設定することができます。

### 1 初期設定メニュー(言語)

で、ジョイスティックを上下に操作して、「メニュー言語」を選ぶ

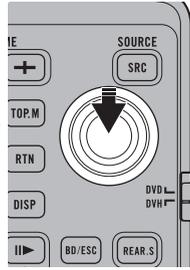
「メニュー言語」が青色で表示されます。



次ページへつづく

**2** ジョイスティックを押して、メニュー言語設定画面に切り換える

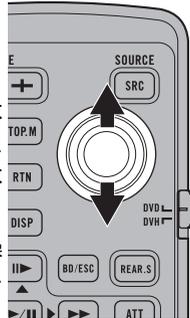
メニュー言語設定画面に切り換わります。



**3** ジョイスティックを上下に操作して、希望の言語を選ぶ

現在設定されている言語は枠囲みで表示され、ジョイスティックで選んでいる言語は青色で表示されます。

ジョイスティックを左右に操作すると、画面を切り換えることができます。



**4** ジョイスティックを押す

選んだ項目に切り換わります。

- ・ 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- ・ RETURN ボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。

「その他」を選んだとき

「その他」を選ぶと、言語のコード入力画面が表示されますので、「言語コード表」(160ページ)より、4桁の言語コードを数字ボタンで入力し、ジョイスティックを押してください。CLEAR ボタンを押すと、入力した数字を消すことができます。

## アシスト字幕の設定

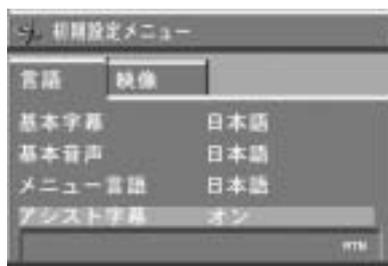
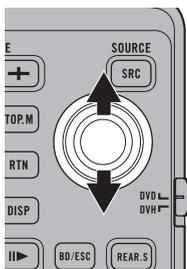
アシスト字幕

アシスト字幕のオン/オフを設定することができます。

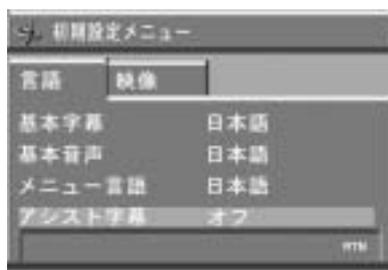
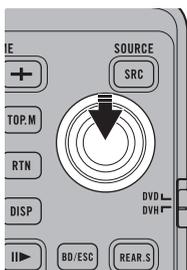
アシスト字幕について

アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために、場面の状況を説明する字幕です。ただし、アシスト字幕はDVDに収録されている場合にのみ表示することができます。

- 1** 初期設定メニュー（言語）で、ジョイスティックを上下に操作して、「アシスト字幕」を選ぶ  
「アシスト字幕」が青色で表示されます。



- 2** ジョイスティックを押して、アシスト字幕のオン/オフを切り換える  
ジョイスティックを押すごとに、アシスト字幕のオン/オフが切り換わります。

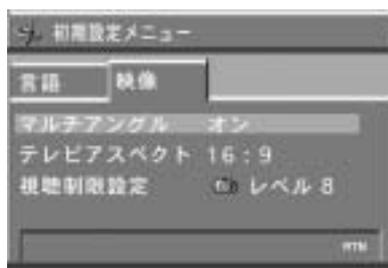
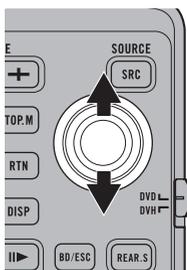


## マルチアングルマーク表示の設定

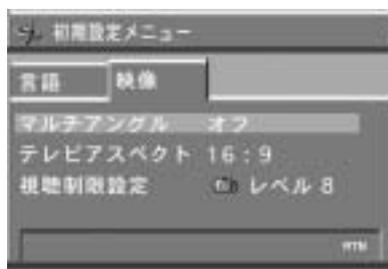
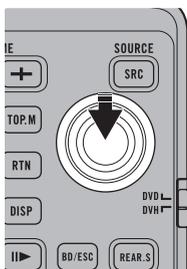
マルチアングル

マルチアングル収録されたディスクで、アングル切り換えができる場面を再生している間、画面左下にマルチアングルマークを表示することができます。

- 1** 初期設定メニュー（映像）で、ジョイスティックを上下に操作して、「マルチアングル」を選ぶ  
「マルチアングル」が青色で表示されます。



- 2** ジョイスティックを押して、マルチアングルマーク表示のオン/オフを切り換える  
ジョイスティックを押すごとに、マルチアングルマーク表示のオン/オフが切り換わります。



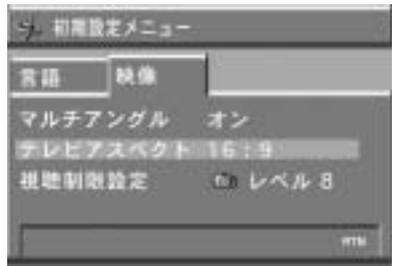
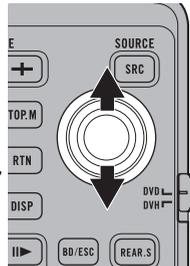
# 画面の縦横比の設定

テレビアスペクト

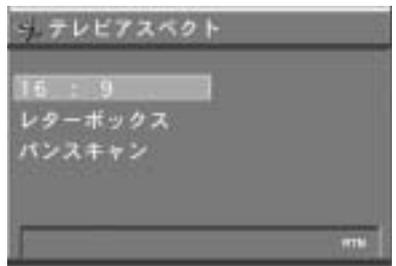
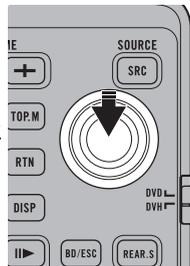
モニターには、横と縦の比率が16：9のワイド画面と、4：3のノーマル画面の2種類があります。お使いのモニターに合わせて正しく設定してください。

テレビアスペクト	設定内容
16：9	ワイドモニターをお使いのときに選択します。(初期設定)
レターボックス	ノーマルモニターをお使いのときに選択します。ディスクに収録されている映像が16：9のときは、レターボックス（上下に黒い帯のある画面）になります。
パンスカン	ノーマルモニターをお使いのときに選択します。ディスクに収録されている映像が16：9のときは、パンスカン（左右の切れた画面）になります。

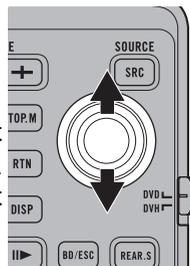
- 1** 初期設定メニュー（映像）で、ジョイスティックを上下に操作して、「テレビアスペクト」を選ぶ  
「テレビアスペクト」が青色で表示されます。



- 2** ジョイスティックを押して、テレビアスペクト設定画面に切り換える  
テレビアスペクト設定画面に切り換わります。



- 3** ジョイスティックを上下に操作して、希望の設定を選ぶ  
現在設定されている項目は枠囲みで表示され、ジョイスティックで選んでいる項目は青色で表示されます。



## 4 ジョイスティックを押す

選んだ項目に切り換わります。

- ・ ノーマルモニターをお使いのときは、「レターボックス」または「パンスキャン」のどちらかに設定してください。「16 : 9」に設定すると、映像が不自然になることがあります。
- ・ パンスキャン設定されていないディスクを再生したときは、「パンスキャン」に設定しても、「レターボックス」での再生となります。ディスクのパッケージで、「16:9 LB」マーク(12 ページ)を確認してください。
- ・ ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- ・ RETURN ボタンを押すと、1 つ前の画面に戻ります。

## 視聴制限の設定

レンタルロック

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

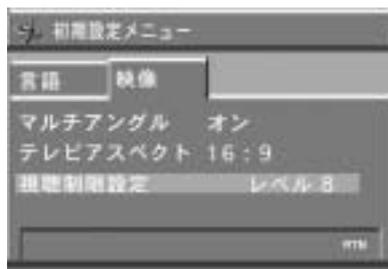
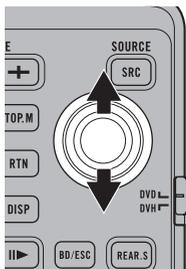
レベル	視聴制限の内容
レベル 8	すべてのディスクを再生できます。(初期設定)
レベル 7 ~ レベル 2	成人向けのディスクの再生を禁止します。(子供向けや一般向けのディスクが再生できます。)
レベル 1	子供向けのディスクのみ再生できます。

## 暗証番号とレベルの設定

最初にご使用になるときは、暗証番号を登録してください。暗証番号を登録しないと、視聴制限の設定を行うことはできません。

### 1 初期設定メニュー(映像)

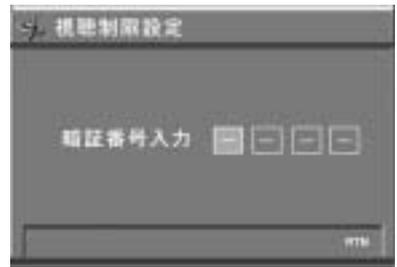
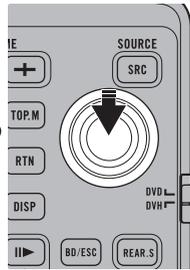
で、ジョイスティックを上下に操作して、「視聴制限設定」を選ぶ  
「視聴制限設定」が青色で表示されます。



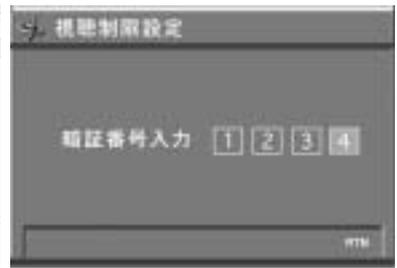
次ページへつづく

- 2** ジョイスティックを押して、視聴制限設定画面に切り換える

視聴制限設定画面に切り換わります。

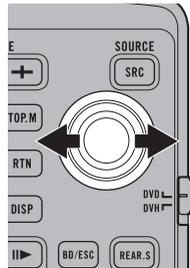


- 3** リモコンの数字ボタンで、4桁の暗証番号を入力する



- 4** ジョイスティックを押す  
暗証番号が決定され、レベルの変更ができるようになります。

- 5** ジョイスティックを左右に操作して、レベルを選ぶ



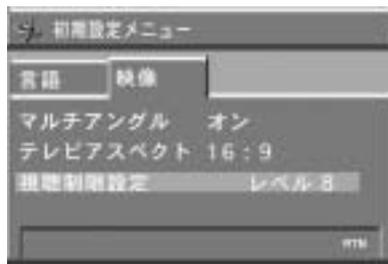
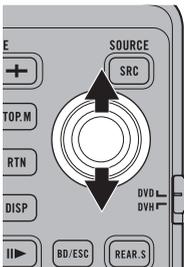
- 6** ジョイスティックを押して、視聴制限レベルを設定する  
視聴制限のレベルが設定されます。

- 登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをおすすめします。
- 視聴制限レベルは、ディスクに記録されています。ディスクのパッケージなどでご確認ください。なお、視聴制限レベルが記録されていないディスクでは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみを飛ばして再生するものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- RETURN ボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。

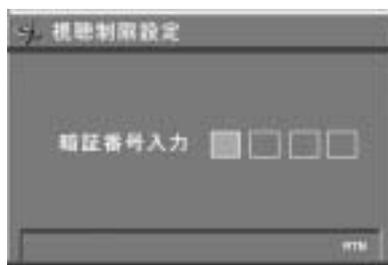
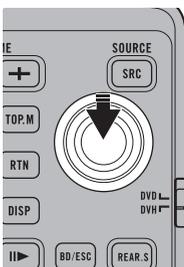
## レベルの変更

設定した視聴制限のレベルを変更することができます。

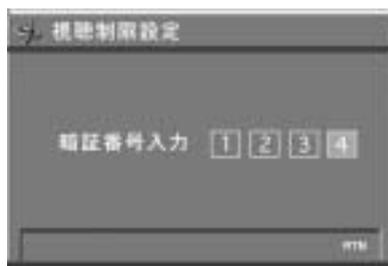
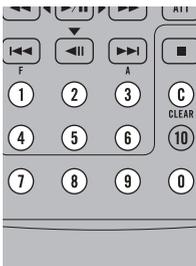
- 1** 初期設定メニュー（映像）で、ジョイスティックを上下に操作して、「視聴制限設定」を選ぶ  
「視聴制限設定」が青色で表示されます。



- 2** ジョイスティックを押して、視聴制限設定画面に切り換える  
視聴制限設定画面に切り換わります。

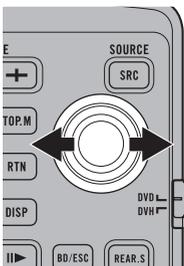


- 3** リモコンの数字ボタンで、登録してある暗証番号を入力する



- 4** ジョイスティックを押す  
暗証番号が決定され、レベルの変更ができるようになります。

- 5** ジョイスティックを左右に操作して、レベルを選ぶ



- 6** ジョイスティックを押して、  
視聴制限レベルを設定する  
視聴制限のレベルが設定され  
ます。

・ RETURN ボタンを押すと、1 つ前の画面に戻ります。

### 視聴制限されたディスクを再生するとき

視聴制限されたディスクを再生しようとしたとき、暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合、正しい暗証番号を入力しないと再生は始まりません。

### 暗証番号を忘れたときは

「レベルの変更」(147 ページ) の手順 3 で、CLEAR ボタンを 10 回押します。  
登録した暗証番号が解除され、新しい暗証番号を登録できるようになります。

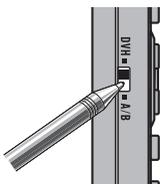
# リモコンコードの設定

本機とパイオニア製DVDプレーヤーを組み合わせたときに、付属のリモコンでパイオニア製DVDプレーヤーをコントロールするために、リモコンコードの設定をします。リモコンコードにはコードDVH、コードA、およびコードBがあります。6連奏マルチDVDプレーヤー（「XDV-P9II」など）と組み合わせたときは、コードAに設定してください。また、HDDナビゲーションサーバー（「AVIC-H9」など）と組み合わせたときは、コードBに設定してください。

リモコンの操作モード切り換えスイッチがDVDモードにセットされているときだけ、リモコンコードの設定を変更することができます。

コード設定	設定内容
コードDVH	付属のリモコンで、本機だけを操作するときはこの設定にします。
コードA	付属のリモコンで、パイオニア製6連奏マルチDVDプレーヤー（「XDV-P9II」など）を操作するときは、この設定にします。
コードB	付属のリモコンで、パイオニア製HDDナビゲーションサーバー（「AVIC-H9」など）を操作するときは、この設定にします。

- 1** リモコンの左側面にある、リモコンコード切り換えスイッチを、ペン先などで切り換える



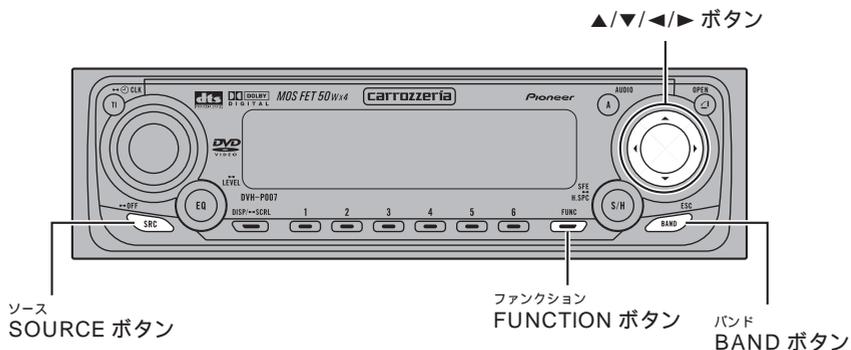
- 2** コードA/Bに設定したときは、リモコンの数字ボタン7と0を同時に押す

数字ボタン7と0を同時に押すごとに、コードAとコードBが順に切り換わります。（初期設定はコードAです）



- ・パイオニア製のDVDプレーヤーの初期設定メニューと、本機に付属のリモコンのコードの設定は同じにしてください。設定が異なっていると操作ができません。

## 初期設定



## 初期設定モードの切り替えかた

外部機器やディマラーの設定などをするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

## 初期設定画面を表示する

## リモコンの操作モードがDVHモードの場合

- ・リモコンの操作モードがDVHモードの場合、本体のボタンに対応したボタンで、初期設定をすることができます。リモコンの操作モードがDVDモードの場合、リモコンでの操作はできません。

- 1 SOURCE ボタンを2秒以上押して、本機の電源をOFFにする  
(「電源をOFFにする」23ページ)
- 2 電源がOFFのときに、FUNCTION ボタンを2秒以上押して、初期設定モードにする  
初期設定モードが表示されます



### 3 FUNCTION ボタンを押して、初期設定 モードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

時計調節モード (152 ページ)    AUX (外部機器) モード (153 ページ)  
ディマーモード (154 ページ)    リア出力設定モード <sup>1</sup> (154 ページ)  
TEL ミュート/アッテネーターモード (156 ページ)    オートプレイモード (156 ページ)  
デジタルアッテネーターモード <sup>2</sup> (157 ページ)    時計調節モードに戻る

<sup>1</sup> リア出力設定モードは、本機に、5.1ch 対応・DSP ユニット (「DEQ-P7」) を接続しているときには操作できません。

<sup>2</sup> デジタルアッテネーターモードは、本機に、5.1ch 対応・DSP ユニット (「DEQ-P7」) を接続しているときだけ操作できます。

・初期設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(解除すると、電源が OFF になります。)

# 初期設定

初期設定

## 時計を合わせる

時計を合わせることができます。

- 1** 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押して、時計調節モードを選ぶ



- 2** 時計を設定する

時または分を選ぶ

◀または▶ボタンを押して、時または分を選ぶ

押すごとに、時または分が切り換わります。



時刻を合わせる

▲または▼ボタンを押して、時刻を合わせる

▲：時刻を進めるとき

▼：時刻を戻すとき

分を調節すると、0秒からカウントが始まります。



- 3** BANDボタンを押して、初期設定モードを解除する

## 外部機器の音声を聞く

本機に DAT や VTR などの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

### 外部機器との接続について

別売の RCA/IP-BUS インターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA 出力のある DAT や VTR を、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUS インターコネクターの説明書をご覧ください。

- 1 電源が OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから FUNCTION ボタンを押して、AUX (外部機器) モードを選ぶ



- 2 ▲ ボタンを押して、AUX (外部機器) の設定を ON にする

▼ ボタンで OFF になります。



- 3 SOURCE ボタンを押して、ソースを AUX に切り換える (20 ページ)

ソースを AUX に切り換えると、外部機器の音声が出力されます。



## 外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

- 1 SOURCE ボタンを押して、ソースを AUX に切り換える (20 ページ)



- 2 FUNCTION ボタンを 2 秒以上押して、外部機器の名称入力モードを選ぶ



- 3 外部機器の名称を入力し、記憶させる

CD タイトル入力の手順 2 ~ 5 を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。(60 ページ)

外部機器の名称は、8 文字まで入力することができます。

## 夜間のディスプレイの明るさを切り換える

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。

- 1 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してからFUNCTIONボタンを押して、ディマーモードを選ぶ



- 2 ▲ボタンを押して、ディマーをONにする  
▼ボタンでOFFになります。

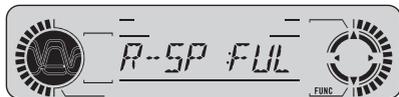


- 3 BANDボタンを押して、初期設定モードを解除する

## リアの出力方法を変える

リア出力に接続するスピーカーの種類に合わせて切り換えます。フルレンジスピーカーを接続する場合は、“R-SP :FUL”に切り換えます。また、サブウーファーを接続する場合は、“R-SP :S/W”に切り換えます。リア出力の設定を“R-SP :S/W”に切り換えると、リアスピーカー端子にサブウーファーを直接接続することができます。

- 1 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してからFUNCTIONボタンを押して、リア出力設定モードを選ぶ



- 2 ▲または▼ボタンを押して、リアの出力方法を選ぶ

▲ : R-SP :FUL (フルレンジのとき)

▼ : R-SP :S/W (サブウーファーのとき)



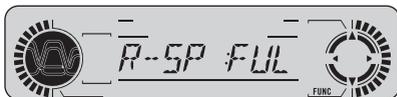
- 3 BANDボタンを押して、初期設定モードを解除する

- ・ リア出力の設定は、リアスピーカー端子とRCA出力を同時に切り換えます。どちらか一方のみを切り換えることはできません。

## サブウーファースの調節先を選ぶ

RCA サブウーファー出力にサブウーファーを接続する場合、本機でサブウーファーを調節する“P/O:S/W”と、外部アンプでサブウーファーを調節する“P/O:FUL”が選べます。

- 1** 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してからFUNCTIONボタンを押して、リア出力設定モードを選ぶ



- 2** ▲ボタンを押して、“R-SP:FUL”を選ぶ



- 3** ◀または▶ボタンを押して、サブウーファーコントロールを設定する

- ▶ : P/O:FUL (外部アンプで調節するとき)
- ◀ : P/O:S/W (本機で調節するとき)



- 4** BANDボタンを押して、初期設定モードを解除する

- ・サブウーファーコントロールの設定を“P/O:FUL”にしたときは、オーディオ調節モードでノンフェーディングを調節してください。
- ・サブウーファーコントロールの設定を“P/O:S/W”にしたときは、オーディオ調節モードでサブウーファーを調節してください。
- ・サブウーファーコントロールの設定を切り換えるとオーディオ調節モードで行った設定は、リセットされます。

## ミュート/アッテネート切り換え

ミュート機能のある製品（パイオニア製ナビゲーションシステム「AVIC-DR100」など）と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュートまたはアッテネート機能が働きます。ミュート機能が働いているときの音量は“0”で、アッテネート機能が働いているときの音量は、元の音量の約1/10です。ミュートまたはアッテネート機能が解除されると、自動的に元の音量に戻ります。

- 1** 電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してからFUNCTIONボタンを押して、TELミュート/アッテネートモードを選ぶ



- 2** ◀または▶ボタンを押して、信号入力時の設定を選ぶ

▶ : MUT (ミュート)

◀ : ATT (アッテネート)

本機に、別売の5.1ch対応・DSPユニット（「DEQ-P7」）を接続しているときは、MUT（ミュート）、A10（10 dBアッテネート）、A20（20 dBアッテネート）の中から選ぶことができます。



- 3** BANDボタンを押して、初期設定モードを解除する

## 自動/手動再生の切り換え

内蔵プレーヤーにディスクを挿入したとき、自動的に再生を開始するか、手動でソースを切り換えるかを選ぶことができます。

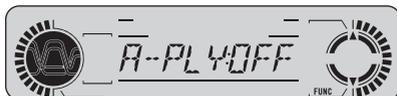
（この機能は初期設定で“A-PLY:ON”になっています。）

- 1** 電源がOFFのときに、FUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して、オートプレイモードを選ぶ



- 2** ▲ボタンを押して、オートプレイの設定をONにする

▼ボタンでOFFになります。



- 3 BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除する

・ “A-PLY :ON” のときに、内蔵プレーヤーにディスクを挿入すると、ソースがDVDに切り換わり、ディスクの再生が始まります。

## 音の歪みを補正する

イコライザーカーブの調整による音の歪みを抑制することができます。

この機能は、本機に、5.1ch 対応・DSPユニット(「DEQ-P7」)を接続しているときだけ操作できます。

- 1 電源がOFFのときに、FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して、デジタルアッテネーターモードを選ぶ



- 2 ▲または▼ ボタンを押して、デジタルアッテネーターの設定を選ぶ

▲ : HI

▼ : LOW



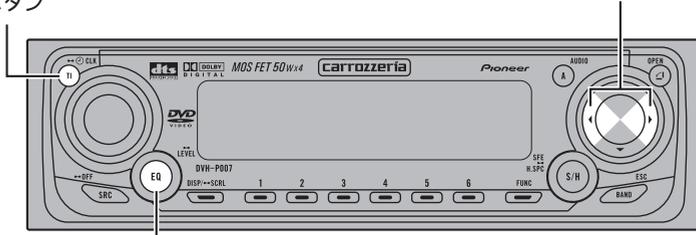
- 3 BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除する

・ イコライザーカーブの設定で、レベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの設定で音が歪んだように感じたときは、「LOW」に切り換えてください。(通常は音質が優れている「HI」のままお使いください。)

## その他の機能と付録

トラフィックインフォメーション  
TI ボタン

◀▶ ボタン



イコライザー  
EQ ボタン

## 瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

- 1 リモコンのATTボタンを押して、瞬時に音量を小さくする(17ページ)  
音量が約1/10になります。  
もう一度押すと、OFFになります。



アッテネーターがONのときに  
点滅します。

## 時計を表示させる

時計表示

本機の電源のON/OFFに関わらず、時計を表示させることができます。

- 1 TIボタンを2秒以上押して、時計を表示する  
もう一度2秒以上押すと、OFFになります。



時計表示

- 本機の電源がONの場合は、時計表示のときに他の操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約25秒後に時計表示に戻ります。
- 時計を合わせるには(152ページ)

# 交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

## 1 TI ボタンを押して、交通情報を受信する

AM 1,620 kHzの交通情報を受信します。



## 2 ◀または▶ ボタンを押して、周波数を選ぶ

▶ : 1629 kHzを選ぶとき

◀ : 1620 kHzを選ぶとき



受信周波数

## 3 TI ボタンを押して、交通情報の受信をやめる

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

- この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。
- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。
- 交通情報を受信すると、自動的に交通情報用のイコライザーカーブに切り換わります。交通情報の受信をやめるとイコライザーカーブは、元の状態に戻ります。
- 交通情報を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

# レベルインジケータを切り換える

レベルインジケータ

ディスプレイ両端のレベルインジケータの表示方法を切り換えることができます。

## 1 EQ ボタンを2秒以上押して、レベルインジケータを切り換える

2秒以上押すごとに、次のように切り換わります。



レベルインジケータ

レベルインジケータ-1   レベルインジケータ-2   レベルインジケータ-全点灯  
レベルインジケータ-OFF   レベルインジケータ-1に戻る

# 言語コード表

言語名 (言語コード)	入カコード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブバジア語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハーリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712
グラナニ語 (gn)	0714

言語名 (言語コード)	入カコード
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
イヌビアク語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カンナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721

言語名 (言語コード)	入カコード
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンド語 (sg)	1907
セルボアクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバク語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
ショナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストゥ語 (st)	1920
スンダ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジル語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チグリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トウイ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

\* 言語表記はISO639:1988 (E/F)に準拠 (1999年9月現在)

## アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニターは4 : 3ですが、ワイドモニターは16 : 9の比率となっており、臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

## 視聴制限 (パレンタルロック)

成人向けの内容や暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクでは、本機の視聴制限レベルを設定することで、再生できなくなったり、過激なシーンを飛ばして再生したりすることができます。

## タイトル

DVDは大容量なので、1枚のディスクに複数の映画を記録することもできます。たとえば、1枚のディスクに異なる3つの映画が記録されている場合、タイトル1、タイトル2、タイトル3に分けられます。この場合、タイトルサーチなどの操作ができます。

## チャプター

DVDのタイトル内をいくつかのセクションに区切り、番号付けしたものです。本の“章”に相当します。ディスクにチャプターが記録されていると、希望の場面をすばやく見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

## ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。



ドルビーデジタルを楽しむには、本機の光デジタル出力端子とドルビーデジタル対応アンプの光デジタル入力端子を接続する必要があります。

## パケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

## 光デジタル出力

音声信号をデジタル信号で伝送することにより、音質の劣化を最小限に抑えることができます。また、デジタル信号を光で伝送するようにしたものが光デジタル出力です。(アンプなど受け取り側には、光デジタル入力が必要です。)

## ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3 など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります。

## プレイバックコントロール (PBC)

ビデオ CD (バージョン 2.0) に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC 付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

## マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、画像は撮影しているカメラの位置の視点になります。テレビ番組などでは、数台のカメラで同時に撮影した映像のうち 1 つを各家庭のテレビに送っています。もし、すべてのカメラの映像が同時に送られてくるようになれば、見たい視点の映像を見ることも可能になります。DVD には、同時に複数のカメラで撮影した映像をすべて収録しているものがあり、視点を自由に選ぶことができます。

## マルチ音声

DVD の中には、1 枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります。DVD では、音声を最大 8 言語 (8 ストリーム) まで記録することができ、その中からお好みの言語を選ぶことができます。

## マルチ字幕 (サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕です。DVD では、字幕の言語を最大 32 カ国語まで記録することができ、その中からお好みの言語を選ぶことができます。

## マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROM や CD-R、CD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1 枚のディスクに 2 つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

## リージョン番号

DVD プレーヤーと DVD ディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号 (リージョン番号) が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョン番号は「2」です。(本体底面に表記されています。)

## リニア PCM (LPCM)

音楽 CD に用いられている信号記録方式で、Linear Pulse Code Modulation の略です。音楽 CD では、44.1 kHz/16 bit で記録されているのに対し、DVD では、48 kHz/16 bit ~ 96 kHz/24 bit で記録されているため、音楽 CD よりも高音質の再生が可能です。

## DTS

Digital Theater Systems の略です。DTS は、サラウンドシステムで、最大 6 チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。



DTS 音声付きディスクを楽しむには、本機的光デジタル出力端子と DTS 対応アンブヤデコーダーなどの光デジタル入力端子を接続する必要があります。

## ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag 編集機能のあるソフトを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

## ISO9660 フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1：

ファイル名は、8.3形式(名前は半角英文大文字と半角数字、“\_”で8文字以下、拡張子は3文字)

レベル2：

ファイル名は、最大31文字(区切り文字、“.”と拡張子を含む)で、各フォルダーの階層は8つ以下

拡張フォーマット

Joliet：

ファイル名は、最大で64文字

Romeo：

ファイル名は、最大で128文字

## MPEG

Moving Picture Experts Groupの略で、「エムペグ」と読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

## MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO(国際標準化機構)のワーキンググループ(MPEG)の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮することができます。

### m3u

プレイリストファイルの拡張子(.m3u)で、「WINAMP」というソフトで作成したプレイリストに付きます。

## VBR (バイビークール)

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

## 故障かな？と思ったら

### 故障かな？ と思ったら

修理を依頼される前に、  
次の表の内容をチェック  
してください。



### チェックしても 直らないときは

「保証書とアフターサービ  
ス」(171ページ)をお読  
みになり、修理を依頼し  
てください。

### 共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (「取付説明書」参照)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 (「取付説明書」参照)
リモコンで操作できない。 操作にあった正しい動作をしない。	リモコンの操作モードが間違っている。	リモコンの操作モードを正しく切り換えてください。 (19ページ)
	リモコンコードが異なっている。	リモコンコード切り換えスイッチを正しく切り換えてください。 (149ページ)
	電池が弱っている。	新しい電池に交換してください。 (18ページ)
ディスクを再生できない。	ディスクによっては、禁止している操作があります。	別のディスクで確認してください。
	ディスクが汚れている。	汚れをふき取ってください。 (10ページ)
	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。

## 共通項目 (つづき)

症状	原因	処置
音が出ない。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (22ページ)
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。 (158ページ)
	前後左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (108、124ページ)
	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (「取付説明書」参照)
音が出ないスピーカーがある。	スピーカーサイズの設定がOFFになっている。 (「DEQ-P7」接続時)	接続しているスピーカーのサイズを正しく調節してください。 (129ページ)
	スピーカーのレベル設定が極端に小さくなっている。 (「DEQ-P7」接続時)	他のスピーカーのレベルとバランスをとってください。 (132ページ)
	センタースピーカーを接続していない状態で、センタースピーカーのサイズをSMLやLRGにしている。 (「DEQ-P7」接続時)	センタースピーカーのサイズ設定をOFFにしてください。 (129ページ)

## 内蔵プレーヤー : DVD

症状	原因	処置
ディスクを再生できない。	PAL方式のディスクを挿入している。 本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	NTSC方式のディスクに交換してください。 本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。 パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 (「取付説明書」参照)
 (禁止マーク) が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。 ディスクの構成上対応できない操作をしている。	この操作はできません。 この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けられない。	ディスク再生中にデータを読みとれなくなった。	一度、リモコンの停止 (■) ボタンを押してから、もう一度再生してください。
音や映像が飛ぶ。	本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかり固定してください。
画面が伸びる、アスペクトが合わない。 視聴制限のメッセージが表示され、再生ができない。	モニターに対しての設定が正しくない。 視聴制限がかかっている。	ご使用のモニターに合った設定にしてください。 視聴制限を解除またはレベルを変更してください。
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。 暗証番号を忘れてしまった。	正しい暗証番号を入力してください。 CLEAR ボタンを10回押して、暗証番号を解除してください。
音声 (または字幕) 言語が切り換えられない。	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
字幕が出ない。	字幕が収録されていないDVDを再生している。 ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	字幕が収録されていないDVDでは、字幕を表示できません。 ディスクのメニューで切り換えてください。
内蔵プレーヤーの初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	内蔵プレーヤーの初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	内蔵プレーヤーの初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。 複数のアングルが収録されていない場合で操作している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えることができません。 複数のアングルが収録されている場合で、操作してください。

## 内蔵プレーヤー：DVD (つづき)

症状	原因	処置
ディスク再生中に映像が乱れる。 映像が暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	本製品はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものもあります。これは、正常な動作です。
DVDの再生ができない。 DVDを取り出せない。	本機がディスクを認識していない。	フロントパネルを開けた状態でEJECTボタンを2秒以上押すと、DVDを取り出すことができます。もう一度入れ直してください。

## 内蔵プレーヤー：ビデオCD

症状	原因	処置
PBCのメニュー画面を呼び出せない。	PBCの付いていないビデオCDを再生している。 PBCをOFFにしている。	PBCの付いていないビデオCDでは操作できません。 PBCをONにしてください。 (48ページ)
リピート再生、トラック/タイムサーチができない。	PBCがONになっている。	PBCをOFFにしてください。 (48ページ)
ビデオCDの再生ができない。 ビデオCDを取り出せない。	本機がディスクを認識していない。	フロントパネルを開けた状態でEJECTボタンを2秒以上押すと、ビデオCDを取り出すことができます。もう一度入れ直してください。

## 内蔵プレーヤー：CD、MP3

症状	原因	処置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (10ページ)
	CDに曇りや水滴がついている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (10ページ)
CDの再生ができない。 CDを取り出せない。	本機がディスクを認識していない。	フロントパネルを開けた状態でEJECTボタンを2秒以上押し、CDを取り出すことができます。もう一度入れ直してください。

## ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (83ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (83ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (83ページ)

## 「DEQ-P7」接続時

症状	原因	処置
スピーカーの調節ができない。	スピーカーのサイズ設定がOFFになっている。	接続しているスピーカーのサイズを正しく設定してください。 (129ページ)
タイムアライメントの調節ができない。	リスニングポジションの設定が間違っている。	リスニングポジションを正しく設定してください。 (123ページ)
	スピーカーのサイズ設定がOFFになっている。	接続しているスピーカーのサイズを正しく設定してください。 (129ページ)
サブウーファースの位相が切り換えられない。	サブウーファースの設定がOFFになっている。	サブウーファースの設定をONにしてください。 (129ページ)
低音域が聞こえない。	サブウーファースの設定がOFFで、それ以外のスピーカーのサイズ設定もOFFやSMLになっている。	正しく設定してください。(サブウーファースを接続していない場合、フロントまたはリアスピーカーのサイズ設定は、LRGにしてください。) (129ページ)
ドルビープロロジックをONにすると、音が出ないときがある。	センタースピーカーを接続していない状態で、センタースピーカーのサイズ設定をSMLやLRGにしている。	センタースピーカーのサイズ設定をOFFにしてください。(モノラル音声の場合、ドルビープロロジックをONにすると、センタースピーカーからのみ音を出力するようになります。) (129ページ)
センタースピーカー以外のスピーカーから音が出ないときがある。	ドルビープロロジックがONになっている。	ドルビープロロジックをOFFにしてください。(モノラル音声の場合、ドルビープロロジックをONにすると、センタースピーカーからのみ音を出力するようになります。) (129ページ)
ダイナミックレンジコントロールをONにしても効果がない。	再生しているソースがドルビーデジタル音声でない。	ドルビーデジタル音声にだけ有効な機能です。 (126ページ)
DVDの音だけ出ない。	光デジタルケーブルが外れている。	光デジタルケーブルを正しく接続してください。 (「取付説明書」参照)

## こんなメッセージが表示されたら

### 本体のディスプレイに表示されるエラーメッセージ

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
「ERROR-02」	ディスクが汚れているとき。	ディスクの汚れをふき取ってください。(10ページ)
	ディスクにキズやひびがあるとき。	ディスクを交換してください。
「TEMP」	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
「ERROR-10」	リージョン番号が異なるディスクを使用しているとき。	リージョン番号「2」を含むDVDに交換してください。
「NON PLAY」	ディスクの裏表を逆にしてセットしているとき。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。(24ページ)
	本機では再生できないディスク(DVD AUDIOなど)を使用しているとき。	本機で再生できるディスクに交換してください。(11ページ)
「ERROR-05」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、ディスク再生を一度やめてから、もう一度 ディスク再生にしてください。

マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの説明書をご覧ください。

### モニター表示されるエラーメッセージ

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
「ERROR-02」	ディスクが汚れているとき。	ディスクの汚れをふき取ってください。(10ページ)
	ディスクにキズやひびがあるとき。	ディスクを交換してください。
「温度保護回路作動中」	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
「リージョンコードが違います」	リージョン番号が異なるディスクを使用しているとき。	リージョン番号「2」を含むDVDに交換してください。
「再生できないディスクです」	ディスクの裏表を逆にしてセットしているとき。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。(24ページ)
	本機では再生できないディスク(DVD AUDIOなど)を使用しているとき。	本機で再生できるディスクに交換してください。(11ページ)

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

## 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

## 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

## ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

# 仕様

## スペック

### 共通部

**使用電源：**

DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)

**アース方式：**

マイナスアース方式

**最大消費電流：**

10 A

**外形寸法：**

(フェイス閉)

(取付寸法)：

178 (W) × 50 (H) × 166 (D) mm

(ノーズ寸法)：

170 (W) × 46 (H) × 14 (D) mm

(フェイス開)

(取付寸法)：

178 (W) × 50 (H) × 166 (D) mm

(ノーズ寸法)：

170 (W) × 19 (H) × 41 (D) mm

**質量：**

1.4 kg (コード含まず)

### アンプ/オーディオ部

**最大出力：**

50W × 4

50W × 2ch + 70W × 1ch/2

(for SUB-WOOFER)

**定格出力：**

22W × 4

(50 ~ 15,000 Hz、5 % THD)

**負荷インピーダンス：**

4

(4 ~ 8 [2 for 1ch] 使用可能)

**プリアウト：**

最大出力レベル：

2.2 V

出力インピーダンス：

1 k

**イコライザー：**

3 バンドパラメトリックイコライザー：

(LOW)：

周波数: 40/80/100/160 Hz

Qファクター: 0.35/0.59/0.95/1.15

(+6 dB ブースト時)

調整幅: ± 12 dB

(MID)：

周波数: 200/500/1K/2K Hz

Qファクター: 0.35/0.59/0.95/1.15

(+6 dB ブースト時)

調整幅: ± 12 dB

(HIGH)：

周波数: 3.15K/8K/10K/12.5K Hz

Qファクター: 0.35/0.59/0.95/1.15

(+6 dB ブースト時)

調整幅: ± 12 dB

**ラウドネスコンター：**

(LOW)：

3.5 dB (100 Hz)

3 dB (10 kHz)

(MID)：

10 dB (100 Hz)

6.5 dB (10 kHz)

(HIGH)：

11 dB (100 Hz)

11 dB (10 kHz)

(ボリューム: - 30 dB)

**トーンコントロール：**

(バス)：

周波数: 40/63/100/160 Hz

ゲイン: ± 12 dB

(トレブル)：

周波数: 2.5K/4K/6.3K/10K Hz

ゲイン: ± 12 dB

**ハイパスフィルター：**

周波数: 50 Hz/80 Hz/125 Hz

スロープ: - 12 dB/oct.

**サブウーファーアウトプット：**

周波数: 50/80/125 Hz

スロープ: - 18 dB/oct.

ゲイン: ± 12 dB

位相: NORMAL/REVERSE

---

## DVD プレーヤー部

形式：  
DVD ビデオ、ビデオCDおよびコンパクト  
ディスクオーディオシステム

リージョン番号：  
2

使用ディスク：  
DVD ビデオ、ビデオCDおよびコンパクト  
ディスク

信号フォーマット：  
サンプリング周波数：  
44.1/48/96 kHz  
量子化ビット数：  
16/20/24 ビット直線

周波数特性：  
5 ~ 44,000 Hz

S/N比：  
97 dB (IHF-A ネットワーク)  
96 dB (IHF-A ネットワーク)：CD

ダイナミックレンジ：  
95 dB (1 kHz)  
94 dB (1 kHz)：CD

高調波歪率：  
0.008 % (1 kHz)

出力レベル：  
映像  
1 Vp-p/75  
音声  
1 V (1 kHz、0 dB)

チャンネル数：  
2 (ステレオ)

MP3 デコーディングフォーマット：  
MPEG-1 & 2 Audio Layer-3

---

## FM チューナー部

受信周波数帯域：  
76.1 ~ 89.9 MHz

実用感度：  
8 dBf (0.8  $\mu$ V/75、  
モノラル、S/N：30 dB)

50 dB感度：  
10 dBf (1.4  $\mu$ V/75、モノラル)

S/N：  
75 dB (IHF-A ネットワーク)

高調波歪率：  
0.3 % (65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)  
0.1 % (65 dBf入力、1 kHz、モノラル)

周波数特性：  
30 ~ 15,000 Hz ( $\pm$  3 dB)

ステレオセパレーション：  
45 dB (65 dBf入力、1 kHz)

---

## AM チューナー部

受信周波数帯域：  
522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)

実用感度：  
18  $\mu$ V (S/N：20 dB)

S/N：  
65 dB (IHF-A ネットワーク)

---

## 付属品

リモコン  
(リチウム電池 (CR2025)付き) : 1

電源コード : 1

オーディオ/ビデオ出力コード : 1

ビデオ延長コード : 1

取付ネジ類 : 1 式

取扱説明書 : 1

取付説明書 : 1

安全上のご注意 : 1

保証書 : 1

ご相談窓口・修理窓口のご案内 : 1

・上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。







この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

## ご購入後の製品の修理・取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください

修理のご依頼は、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』の項目をご確認のうえ、お買い求めの販売店へご相談ください。取り付け・組み合わせなどのお問い合わせにつきましても、お買い求めの販売店へご相談・ご相談ください。

### 下記窓口へのお問い合わせ時のご注意

市外局番「0070」で始まるフリーフォンおよび「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。また、一般電話は携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。あらかじめご了承ください。

### 安全上のご注意

携帯電話などの走行中の使用などの禁止に関する規定が、改正道路交通法（法第71条第5号の5）にて施行されています。自動車または原動機付自転車（原付）からの、携帯電話などによる発信・応答・通話は、安全な場所に止めてからご利用ください。

## 製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

### カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

カーオーディオ/カーナビゲーション製品のご相談窓口： **0070-800-8181-11**  
**03-5496-8016**（一般電話）

カタログのご請求窓口： **0070-800-8181-33**  
ファックス：**03-3490-5718**

### バイオニアホームページでのご案内

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>  
カタログ請求とメールサービス登録のご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>

## 部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入に関するご相談については、部品受注センターにご相談ください。

### 部品受注センター（フリーダイヤル）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話： **0120-5-81095**  
**0538-43-1161**（一般電話）

ファックス： **0120-5-81096**

## ご贈答品などの修理についてのご相談窓口

修理のお問い合わせは、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』の項目をご確認のうえお問い合わせください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、下記の修理受付センターにご相談ください。

### 修理受付センター（沖縄県を除く全国）（フリーダイヤル）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話： **0120-5-81028**  
**03-5496-2023**（一般電話）

ファックス： **0120-5-81029**

### 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話：**098-879-1910**（一般電話）  
ファックス：**098-879-1352**

## パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2003

< KSNZF/03A00000 > < CRA3475-A >